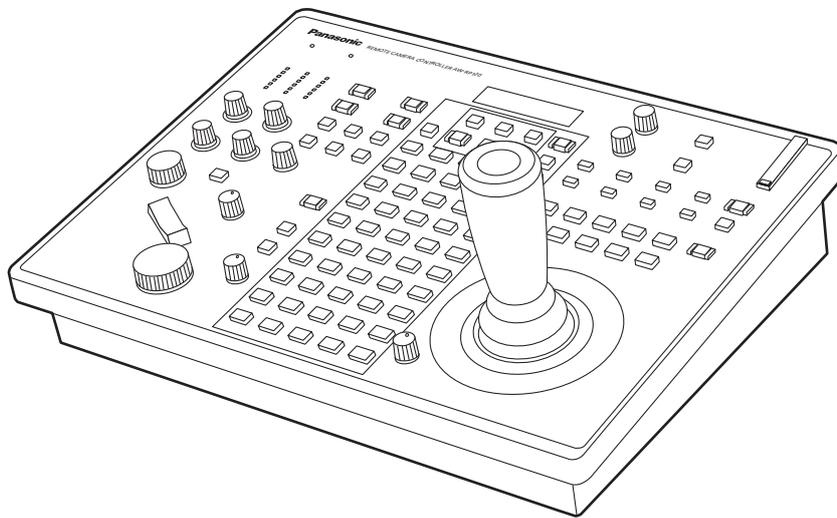


取扱説明書 〈基本編〉

リモートカメラコントローラー
品番 **AW-RP120G**

● 取扱説明書の構成について

- ・〈基本編〉（本書）：
必要な機器との接続や、設置について説明しています。
本機を設置する前に、必ず〈基本編〉をお読みいただき、正しく設置してください。
本書はPDFファイル形式でCD-ROMにも納められています。（2ページ参照）
- ・〈操作・設定編〉：
本機の操作や設定のしかたについて説明しています。
PDFファイル形式でCD-ROMに納められています。（2ページ参照）



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

●取扱説明書PDFファイルの開き方

CD-ROMを挿入してソフトウェアのインストール画面が立ち上がる場合は、インストールを中止してください。CD-ROM内の[Index.pdf]を開くと取扱説明書の一覧が表示されます。開きたい取扱説明書のドキュメント名をクリックしてください。

●PDFファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader®が必要です。

アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。

商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 7およびInternet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel®、Intel® Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe®およびReader®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

本書内のイラストや画面表示について

イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。* 法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32/64ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
- Microsoft® Windows® XP Professional SP3日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition SP3日本語版をWindows XPと表記しています。
- SDメモリーカードとSDHCメモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- 本書では、特定した機器を示す場合を除いて、「HDインテグレートッドカメラ」、または「回転台とカメラの組み合わせ」のことを、総称して「リモートカメラ」と記載しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載	機器の品番	本書での記載
AW-RP120G	AW-RP120	AW-PH650N	AW-PH650
AW-HE60HN	AW-HE60	AW-IF400G	AW-IF400
AW-HE60SN		AW-HE870N	AW-HE870
AW-HE50HN	AW-HE50	AW-E860N	AW-E860
AW-HE50SN		AK-HC1500G	AK-HC1500
AW-HE120W	AW-HE120	AK-HC1800G	AK-HC1800
AW-HE120K		AW-HS50N	AW-HS50
AW-HE100N	AW-HE100	AW-RP50N	AW-RP50
AW-PH360N	AW-PH360	AV-HS6000	AV-HS6000 シリーズ
AW-PH405N	AW-PH405		

もくじ

安全上のご注意	4	本機のネットワーク設定を行う	27
はじめに	7	リモートカメラ、スイッチャーとの接続設定を行う	29
概要	7	リモートカメラとの接続種別 (シリアル/IP/接続無し)を設定する	30
必要なパーソナルコンピューター的环境	7	スイッチャーとの接続種別 (IP/接続無し)を設定する	30
免責について	7	自動でIPアドレスを設定する (自動IP設定)	30
ネットワークに関するお願い	7	接続先IPアドレスを入れ替える	35
特長	8	接続先IPアドレス (リモートカメラ)を手動で設定する	35
対応するリモートカメラ	8	接続先ポート番号を設定する	36
対応するスイッチャー	8	接続先IPアドレス (スイッチャー)を手動で設定する	36
付属品	9	本機に設定されている接続先IPアドレスを初期化する	36
使用上のお願い	9	カメラグループを選択する	37
設置上のご注意	10	リモートカメラを選択する	38
外形寸法図	11	故障かな?とおもったら	39
各部の名前とはたらき	12	保証とアフターサービス (よくお読みください)	40
制御パネル部	12	定格	41
背面部	18	さくいん	42
本機の基本操作	19		
メニューの基本操作	20		
接続	21		
IP接続例	21		
シリアル接続例	23		

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



■ 本機の設置や接続工事は販売店に依頼する

設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

⇒ 必ず販売店に依頼してください。



■ 電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない

火災や感電の原因となります。

異常、故障時には直ちに使用を中止する



■ 異常があったときは、外部 DC 電源の DC プラグを抜く

〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき〕

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、DC プラグを抜く必要があります。

⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 外部 DC 電源の DC プラグは、根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

⇒ 傷んだプラグは使用しないでください。

(DC 電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

■ 高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは、電源を切る

ペースメーカーや医療機器等の医療現場で使用するときには、本機からの電波が電子機器に影響をおよぼす場合があります、誤動作による事故の原因になります。

■ 外部 DC 電源は、電源電圧、および DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する

誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると火災や故障の原因になります。

⇒ 詳しくは、本書の 18 ページを参照してください。

(DC 電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

■ 外部 DC 電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する

不適切な外部 DC 電源を使用すると火災の原因になります。

⇒ 詳しくは、本書の 18 ページを参照してください。

⇒ 外部 DC 電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

⇒ 外部 DC 電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。

 **警告** (つづき)

	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。 ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。 ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や接続ケーブルには触れない 感電の原因になります。</p>
 水場使用 禁止	<p>■ 水場で使用しない 火災や感電の原因になります。</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ ぬれた手で接続ケーブルやコネクタに触れない 感電の原因になります。</p>
	<p>■ 振動や強い衝撃を与えない 火災や感電の原因となります。</p>
	<p>■ メモリーカード (別売品) は乳幼児の手の届くところに置かない 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

 **注意**

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さまにしない] 内部に熱がこもり、火災の原因になります。</p>
	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない 特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。 ⇒ 本機を絶対に放置しないでください。</p>
	<p>■ 接続ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らない コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 ⇒ 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。</p>
	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、外部DC電源のDCプラグを抜く 火災や感電の原因になります。</p>
	<p>■ ケーブルを接続した状態で移動しない ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。また、ケーブルが引っかかって、けがの原因になります。</p>
	<p>■ 落としたり、破損させたりしない 本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。 ⇒ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
	<p>■ ケーブルなどを傷つけない 重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。</p>

はじめに

■ 概要

本機は、リモートカメラを制御するコントローラーです。IP接続であれば最大100台、シリアル接続であれば最大5台のリモートカメラを接続することができます。また、IP接続により、コンパクトライブスイッチャー AW-HS50と連携した操作を行うことができます。

■ 必要なパーソナルコンピュータの環境

本機に付属するソフトウェアは、下記の条件を満たすパーソナルコンピュータでご使用ください。

CPU	Intel® Core™2 Duo 2.4 GHz以上、または同等スペックのCPU
メモリー	Windows XP : 512 MB以上 Windows 7 : 1 GB以上
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX
画像表示機能	解像度 : 1024 × 768ピクセル以上 発色 : True Color (24 bit以上)
対応OS	Windows XP Windows 7
ハードディスク	50 MB以上の空き容量
その他	CD-ROM ドライブ (取扱説明書および各種ソフトウェアを使用するため) Adobe® Reader® (CD-ROM内の取扱説明書を閲覧するため)

■ 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- ⑧ 本体やメモリーカードまたはパーソナルコンピュータに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピュータが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

ユーザー認証について

本機ではユーザー認証機能はBASIC認証を使用しています。セキュリティが確保されていないネットワークでBASIC認証を使用した場合、パスワードが漏えいする危険性があります。

ホスト認証を使用することを推奨します。

ホスト認証の設定は、リモートカメラで行います。詳しくは、リモートカメラの取扱説明書を参照してください。

使用時の制約事項

本機とリモートカメラもしくはパーソナルコンピュータを接続するネットワークは、同一セグメントを推奨します。

セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

特長

IP接続とシリアル接続に対応

IP接続

- ネットワークハブ(スイッチングハブ)を介して最大100台までのリモートカメラ*1を接続することができます。
- 本機の自動IP設定機能で、リモートカメラ*1やスイッチャー*2のIPアドレスを自動的に割り付けて制御可能にします。
*1: 対応カメラ: AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120、AW-HE2
*2: 対応スイッチャー: AW-HS50、AV-HS6000
- 最大5台の本機から、1台のリモートカメラを同時に制御することができます。
- 付属のセットアップソフトウェア(Setup Software)を使って、パーソナルコンピュータから本機を経由してリモートカメラやスイッチャーのIPアドレスを設定することができます。

シリアル接続

- 最大5台までのリモートカメラを接続することができます。

リモートカメラを簡単に操作

- パン/チルト、ズーム、フォーカスを操作する専用のレバー、ボタン、ダイヤルを装備。さらに、それぞれに専用のスピード調整ボリュームを配置。
カメラアングル調整を、迅速・確実に行うことができます。
- ホワイトバランス、ブラックバランスの自動調整を実行するAWBボタン、ABBボタンを装備。さらにRch、Bchそれぞれについて、ペダスタル、ゲインを調整する専用ダイヤルを搭載。
マニュアル操作による色調整も、簡単に行うことができます。
- 1～50の数字ボタンとページボタンにより、プリセットを多用する運用現場においても、迅速な呼び出し操作ができます。
また、リモートカメラがプリセット位置まで移動する速度(PRESET SPEED)を、本機の各プリセット番号に記憶することができます。運用に応じて、プリセット番号によって異なる速度でリモートカメラを動作させることができ、多彩な映像演出が可能になります。
- 一連の操作を記録するトレーシングメモリーを内蔵。
リモートカメラの動作を再現することができます。

対応するリモートカメラ

● HDインテグレートドカメラ

AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120、AW-HE100、AW-HE2*3

*3: AW-HE2には、他のHDインテグレートドカメラとは操作が異なる箇所があります。
詳しくは、<操作・設定編>「AW-HE2の操作」(51ページ)を参照してください。

● 回転台とカメラの組み合わせ

以下に示す回転台とカメラを組み合わせたシステムを制御することができます。

<回転台>

AW-PH360、AW-PH405、AW-PH650、AW-PH400*4

*4: 本機とAW-PH400を接続するには、AW-IF400が必要です。

<カメラ>

AW-HE870、AW-E860、AW-E750、AW-E650、AW-E350、AK-HC1500、AK-HC1800

対応するスイッチャー

● コンパクトライブスイッチャー

AW-HS50

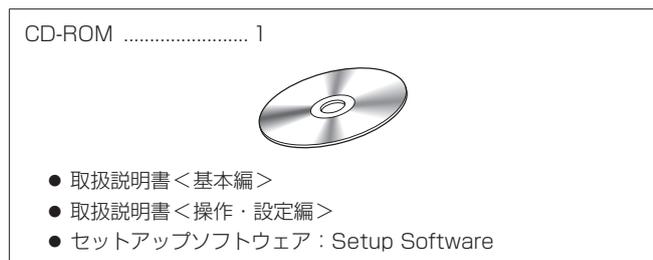
● 2MEスイッチャー

AV-HS6000

付属品

付属品をご確認ください。

- 包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。



使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

取り扱いはいねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。
また、PAN/TILT レバーやダイヤルを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください。

0℃よりも寒い所や、40℃を超える暑い所では内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

湿気、ホコリの少ないところで

湿気、ホコリの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますのでさけてください。

お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

NOTE

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

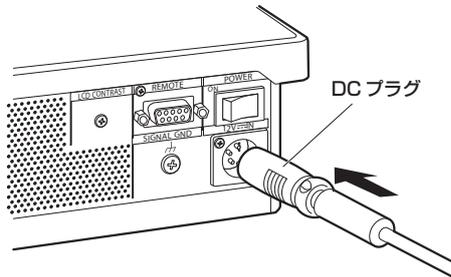
設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

電源の接続について

- 外部DC電源のDCプラグは、ロックするまで奥に差し込んでください。



- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、外部DC電源のDCプラグを抜いてください。

内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 安定した場所に設置して使用してください。
- 直射日光の当たるところへの設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。

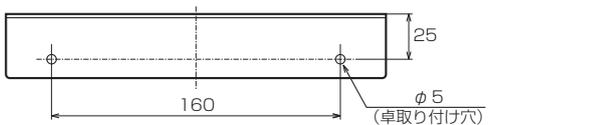
卓埋め込み時の取り付け例

本機を卓に埋め込んで使用する場合は、下記の手順を参考にしてください。

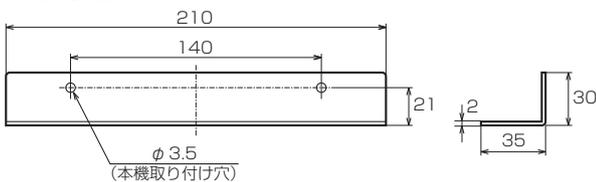
1. 設置場所に応じたマウントアングルを製作する

<マウントアングル例>

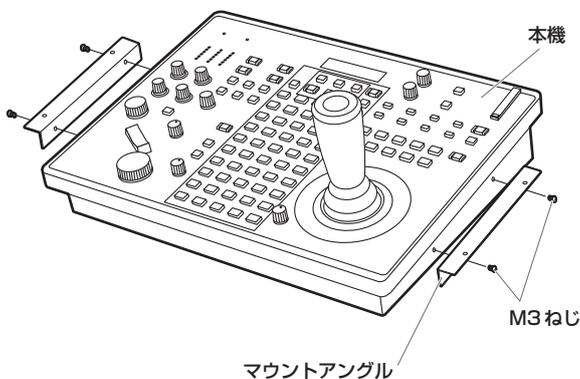
● 卓取り付け側



● 本機取り付け側



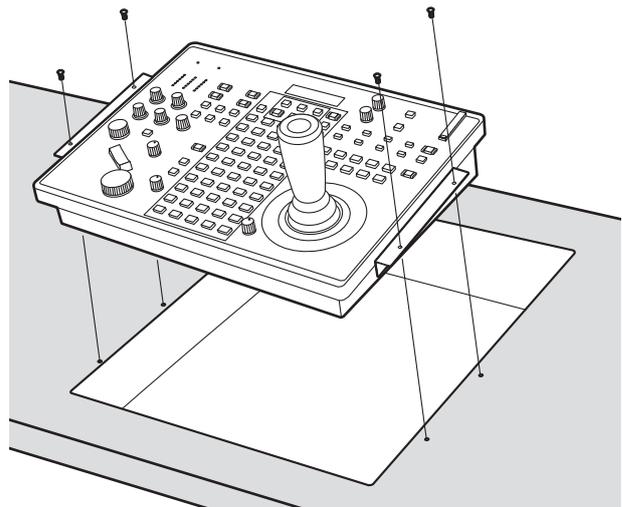
2. マウントアングルを本機の側面に取り付ける (M3ねじ、4本)



NOTE

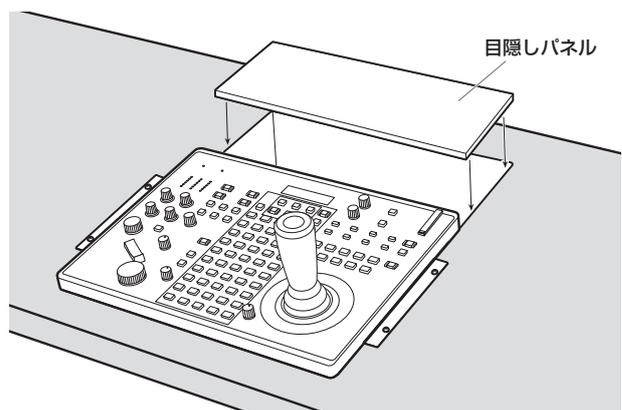
- 本機へのマウントアングル取り付け時の寸法の詳細については、「外形寸法図」(11ページ)を参照してください。

3. 卓の開口部に本機をはめ込み、固定する(ねじ4本)



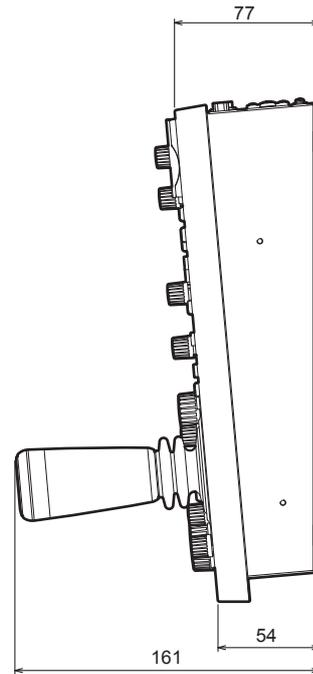
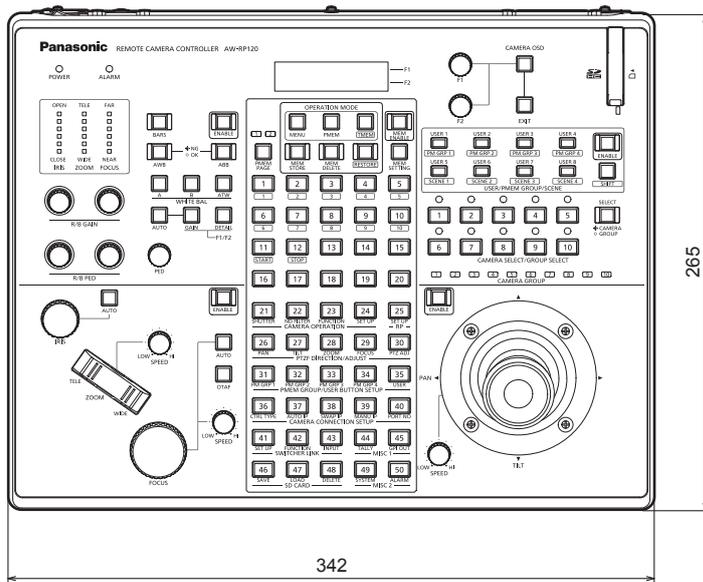
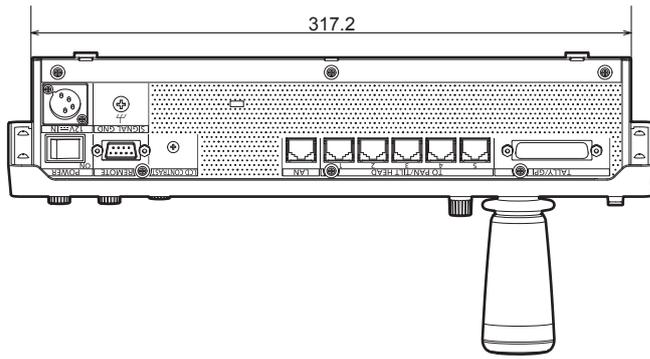
- 卓取り付け穴のサイズ(例: $\phi 5$ mm)に適合するねじをご準備ください。

4. 必要に応じて目隠しパネルを製作し、卓にはめ込む

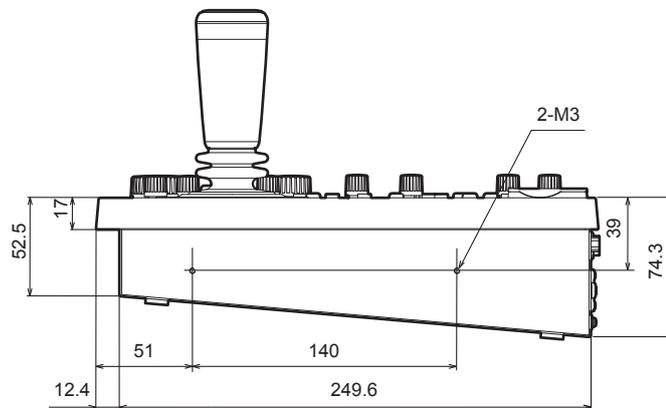


外形寸法図

単位：mm

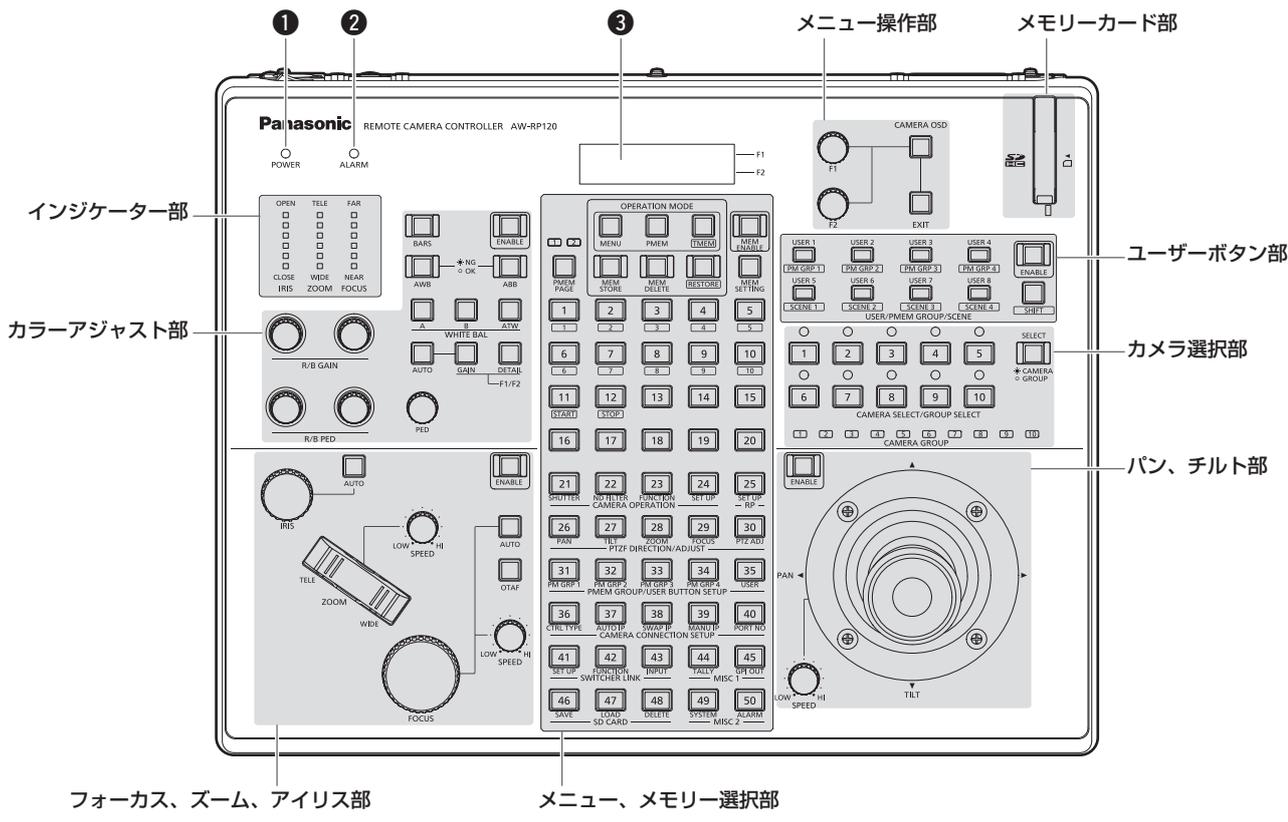


● マウントアングル取り付け位置



各部の名前とはたらき

制御パネル部



① POWER ランプ [POWER]

DC IN 端子 (65) に電源が入力されているときに、背面の POWER スイッチ (49) を ON にすると点灯します。

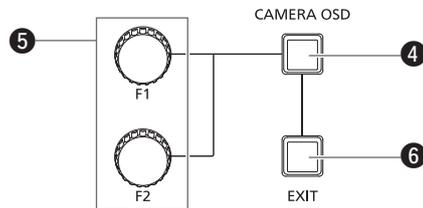
② ALARM ランプ [ALARM]

電源に異常 (電圧低下) があるときに点灯します。
また、リモートカメラからアラーム (冷却ファンのアラーム、パン/チルトのエラー) を受信したときに点灯します。
⇒ 操作・設定編 > 「アラーム情報の確認」 (40 ページ)

③ LCD パネル

現在の設定状態を表示します。

メニュー操作部



④ CAMERA OSD ボタン [CAMERA OSD]

長押しすることにより、消灯/点灯が切り替わり、F1 ダイアル、F2 ダイアルの操作対象が切り替わります。

点灯時: 選択中のリモートカメラの OSD メニューが表示されます。F1 ダイアル、F2 ダイアルで、リモートカメラの OSD メニューの操作ができます。

消灯時: 選択中のリモートカメラの OSD メニューが消えます。F1 ダイアル、F2 ダイアルで、本機のメニュー操作ができます。

⑤ F1 ダイヤル [F1]

F2 ダイヤル [F2]

本機のメニュー操作、もしくは、リモートカメラのOSDメニュー操作を行います。

どちらの操作を行うかは、CAMERA OSD ボタン (④) で選択します。

本機のメニュー操作をしているとき、F1 ダイヤルは本機のLCDパネルの上段に表示している項目を、F2 ダイヤルはLCDパネルの下段に表示している項目を操作します。

リモートカメラのOSDメニュー操作は、カメラの種類によって異なります。

⇒ <操作・設定編>「リモートカメラのOSDメニューを操作する」(11ページ)

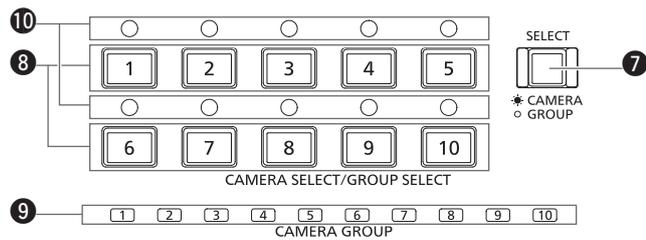
⑥ EXIT ボタン [EXIT]

リモートカメラのOSDメニューの操作中に押すと、設定変更をキャンセルします。

本機のメニュー操作中には、使用できません。

⇒ <操作・設定編>「リモートカメラのOSDメニューを操作する」(11ページ)

カメラ選択部



⑦ 選択モードボタン [SELECT]

押すごとに、点灯→消灯→点灯…と変化し、カメラ選択ボタン (⑧) の動作モードが切り替わります。

点灯時：カメラ選択モード

消灯時：カメラグループ選択モード

⑧ カメラ選択ボタン

[CAMERA SELECT/GROUP SELECT 1 ~ 10]

本機から制御するリモートカメラまたはカメラグループを選択します。

カメラ選択モード時に [1] ~ [10] を押すと、リモートカメラが切り替わります。

カメラグループ選択モード時に [1] ~ [10] を長押しすると、カメラグループが切り替わり、カメラグループ表示ランプ (⑨) が切り替わります。

NOTE

- リモートカメラのOSDメニューが表示されているときに、カメラ選択ボタンを押して本機が制御するリモートカメラを切り替えると、CAMERA OSD ボタン (④) は消灯し、もともと選択していたリモートカメラのOSDメニューは消去されます。

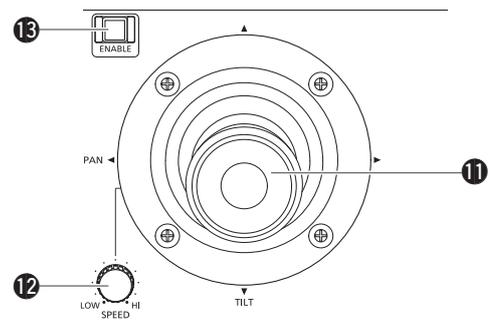
⑨ カメラグループ表示ランプ [CAMERA GROUP 1 ~ 10]

現在選択中のカメラグループ番号が点灯します。

⑩ カメラステータス表示ランプ [1] ~ [10]

[1] ~ [10] に割り当てられたリモートカメラの状態を表示します。
⇒「リモートカメラを選択する」(38ページ)

パン、チルト部



⑪ PAN/TILT レバー

現在選択されているリモートカメラの向きを制御します。

PAN/TILT レバーを倒す角度により、動作スピードが変わります。

左右に倒す：左右方向に動作

前後に倒す：上下方向に動作

- スイッチャーとのリンク機能を有効にすると、PAN/TILT レバーを操作してスイッチャーのパラメーターを制御することができます。

⇒ <操作・設定編>「PAN/TILT レバーと ZOOM ボタンでスイッチャーを操作する」(34ページ)

- PAN DIRECTION メニュー [26]、TILT DIRECTION メニュー [27] で、「REVERSE」を設定すると、レバーを倒した向きとカメラが動く向きの変更をすることができます。

⇒ <操作・設定編>「パン/チルト/ズーム/フォーカスの動作方向の設定」(23ページ)

⑫ PAN/TILT SPEED ダイヤル [SPEED]

PAN/TILT レバー操作に対する動作スピードの変化量を調整します。

時計方向に回す：高速で動く (HI)

反時計方向に回す：低速で動く (LOW)

⑬ PAN/TILT ENABLE ボタン [ENABLE]

PAN/TILT レバー操作を有効にします。

点灯、または点滅：PAN/TILT レバーの操作が有効

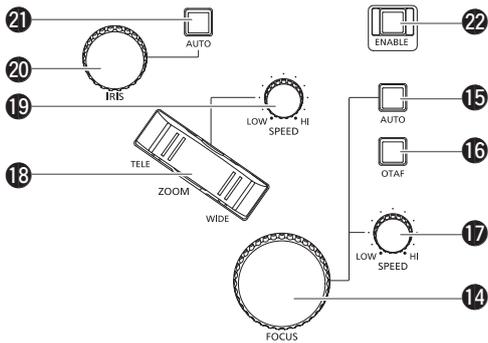
消灯：PAN/TILT レバーの操作が無効

- PAN/TILT レバーがリモートカメラの向きを制御しているとき、PAN/TILT ENABLE ボタンは点灯します。
- PAN/TILT レバーがスイッチャーのパラメーターを制御しているとき、PAN/TILT ENABLE ボタンは点滅します。

- SW FUNCTION メニュー [42] で「9. P/T/Z CONTROL」項目を「Button Select」に設定すると、PAN/TILT ENABLE ボタンを押して PAN/TILT レバーの制御用途を切り替えることができます。

⇒ <操作・設定編>「PAN/TILT レバーと ZOOM ボタンでスイッチャーを操作する」(34ページ)

フォーカス、ズーム、アイリス部



14 FOCUSダイヤル [FOCUS]

手動でフォーカス制御を行います。
オートフォーカス中(オートフォーカスボタン(15)が点灯しているとき)は、操作が無効となります。

時計方向に回す : フォーカスが遠距離側に動く
反時計方向に回す : フォーカスが近距離側に動く

- FOCUS DIRECTIONメニュー [29]で、「REVERSE」を設定すると、FOCUSダイヤルを回した向きとフォーカス動作の向きの関係を変更することができます。

15 オートフォーカスボタン [AUTO]

フォーカス制御を「自動(オートフォーカス)」に設定します。
オートフォーカス中は、FOCUSダイヤル(14)、ワンタッチオートフォーカスボタン(16)の操作が無効となります。

点灯 : オートフォーカス
消灯 : マニュアルフォーカス

- リモートカメラにエクステンダー機能が備わったレンズを使用している場合、ボタンを押すごとにエクステンダー機能が切り替わります。

点灯 : エクステンダー機能が有効
消灯 : エクステンダー機能が無効

(レンズのコントロールケーブルを回転台に接続する方法については、回転台の取扱説明書を参照してください。)

- リモートカメラにオートフォーカス機能、レンズのエクステンダー機能が無い場合、ボタン操作は無効になります。

16 ワンタッチオートフォーカスボタン [OTAF]

マニュアルフォーカス中(オートフォーカスボタン(15)が消灯しているとき)に押すと、一瞬ボタンが点灯してオートフォーカス動作を行い、焦点を合わせます。

- オートフォーカス機能がリモートカメラに無い場合には、ボタン操作は無効になります。

17 FOCUS SPEEDダイヤル [SPEED]

FOCUSダイヤル(14)の操作に対する動作の変化量を調整します。

時計方向に回す : 高速で動く (HI)
反時計方向に回す : 低速で動く (LOW)

18 ZOOMボタン [ZOOM]

レンズのズームを調整します。
ボタンを押し込む度合いによって、ズーム動作のスピードが変わります。

TELE側を押す : 望遠側に動く
WIDE側を押す : 広角側に動く

- スイッチャーとのリンク機能を有効にすると、ZOOMボタンを押してスイッチャーのパラメーターを制御することができます。
⇒ <操作・設定編>「PAN/TILTレバーとZOOMボタンでスイッチャーを操作する」(34ページ)
- ZOOM DIRECTIONメニュー [28]で、「REVERSE」を設定すると、ZOOMボタンを倒した向きとレンズのズーム動作の向きの関係を変更することができます。

19 ZOOM SPEEDダイヤル [SPEED]

ZOOMボタン(18)の操作に対する動作の変化量を調整します。

時計方向に回す : 高速で動く (HI)
反時計方向に回す : 低速で動く (LOW)

20 IRISダイヤル [IRIS]

マニュアルアイリス中(オートアイリスボタン(21)が消灯しているとき)に手動でレンズ絞りを制御します。
オートアイリス中(オートアイリスボタン(21)が点灯しているとき)は、リモートカメラのオートアイリスの収束レベルを調整します。

時計方向に回す : レンズ絞りが開く方向に動く
反時計方向に回す : レンズ絞りが閉じる方向に動く

21 オートアイリスボタン [AUTO]

レンズ絞りの制御を「自動(オートアイリス)」に設定します。

点灯 : オートアイリス
消灯 : マニュアルアイリス

- AW-HE50、AW-HE60を制御しているときは、オートアイリス、マニュアルアイリスの選択に連動して、Contrast Modeがそれぞれ「Auto」、「Manual」に切り替わります。また、撮影モードを「FullAuto」に設定すると、オートアイリス固定になり、ボタン操作は無効になります。
- プロトコルコンバーター(AW-IF400)を経由してAW-PH400を接続しているとき、AW-PH400の電源を本機より後に入れると、オートアイリスボタンの状態にかかわらずリモートカメラは「オートアイリス」の状態で作動します。オートアイリスボタンを押し、本機とカメラの状態を一致させてから操作してください。

22 FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタン [ENABLE]

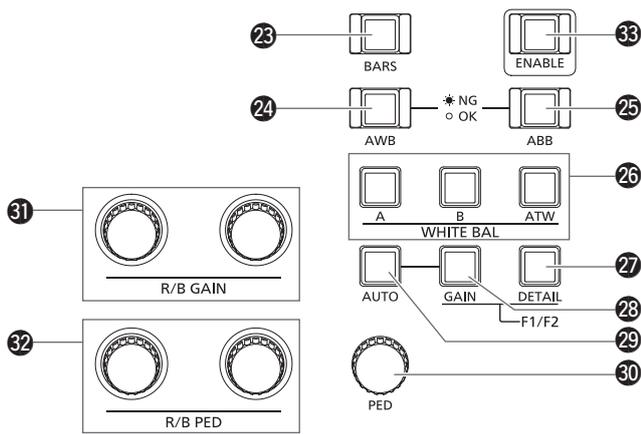
FOCUSダイヤル(14)、ZOOMボタン(18)、IRISダイヤル(20)の操作の有効と無効を切り替えます。

点灯、または点滅 : FOCUSダイヤル、ZOOMボタン、IRISダイヤルの操作が有効

消灯 : FOCUSダイヤル、ZOOMボタン、IRISダイヤルの操作が無効

- ZOOMボタンがレンズのズームを制御しているとき、FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタンは点灯します。
- ZOOMボタンがスイッチャーのパラメーターを制御しているとき、FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタンは点滅します。
- SW FUNCTIONメニュー [42]で「9. P/T/Z CONTROL」項目を「Button Select」に設定すると、FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタンを押して、ZOOMボタンの制御用途を切り替えることができます。
⇒ <操作・設定編>「PAN/TILTレバーとZOOMボタンでスイッチャーを操作する」(34ページ)

カラーアジャスト部



23 BARS ボタン [BARS]

リモートカメラから出力される映像信号を選択します。ボタンを押すごとに、「カメラが撮影している映像信号」、「カラーバー信号」が切り替わります。

消灯：カメラが撮影している映像信号を出力

点灯：カラーバー信号を出力

24 AWB ボタン [AWB]

ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整結果をリモートカメラのメモリーAやメモリーBに登録します。

ホワイトバランスの調整中はAWBボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかった場合は点灯し、ホワイトバランスの設定は変わりません。

- ホワイトバランスの自動調整が終了すると、R GAIN、B GAINの値は±0になります。
- リモートカメラからカラーバー信号が出力されているとき (BARS ボタン (23) が点灯) や、ATWが選択されているとき (ATW ボタン (26) が点灯) にAWB ボタンを押すと、調整されずに点灯します。
- 調整できなかったときは、光源、レンズ絞り、被写体等を変えて調整し直してください。

25 ABB ボタン [ABB]

ブラックバランスの自動調整を実行します。

ボタンを押すと自動的にアイリスが絞られ調整が実行されます。ブラックバランスの調整中はABBボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかった場合は点灯し、ブラックバランスの設定は変わりません。

- 調整できなかったときは、カメラやレンズのケーブルの接続を確認し、調整し直してください。

26 WHITE BAL A、B、ATW ボタン

[WHITE BAL A/B/ATW]

リモートカメラのホワイトバランスモードを選択します。

A : A ボタンを押すと、カメラのメモリー Aに登録されているホワイトバランスの状態になり、A ボタンが点灯します。

A ボタンを押した後にAWB ボタン (24) を押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー Aに登録します。

B : B ボタンを押すと、カメラのメモリー Bに登録されているホワイトバランスの状態になり、B ボタンが点灯します。

B ボタンを押した後にAWB ボタン (24) を押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー Bに登録します。

ATW : ATW ボタンを押すと、照明条件に応じてホワイトバランスを自動追尾させるオートトラッキングホワイトバランス (ATW) モードになり、ATW ボタンが点灯します。

27 DETAIL ボタン [DETAIL]

リモートカメラのディテールを調整します。

ボタンを押すと、LCDパネル (9) に、リモートカメラのDETAIL設定値が表示されます。F1 ダイアル、F2 ダイアル (5) を操作して、設定値を変更します。

28 GAIN ボタン [GAIN]

リモートカメラのゲイン設定を変更します。

ボタンを押すと、LCDパネル (9) に、リモートカメラのGAIN設定値が表示されます。F1 ダイアル (5) を操作して、設定値を変更します。

29 AUTO GAIN ボタン [AUTO]

リモートカメラのゲイン調整を自動で行います。

点灯：オートゲイン

消灯：マニュアルゲイン

- AW-HE50、AW-HE60を制御しているとき、撮影モードを「FullAuto」に設定すると、オートゲイン固定になり、ボタン操作は無効になります。

31 PED ダイアル [PED]

マスターペダスタルを調整します。

時計方向に回す : マスターペダスタルの設定値がLCDパネルに表示され、値が+ (プラス) 方向に変化します。

反時計方向に回す : マスターペダスタルの設定値がLCDパネルに表示され、値が- (マイナス) 方向に変化します。

- このダイヤルを押すと、現在の設定値がLCDパネル (9) に表示されます。

31 R/B GAIN ダイアル [R/B GAIN]

Rch、Bchのゲイン (R GAIN、B GAIN) を個別に調整することで、ホワイトバランスをお好みの設定にします。調整値はリモートカメラのメモリーAやメモリーBに登録されます。

時計方向に回す : R GAIN、B GAINの設定値がLCDパネルに表示され、値が+ (プラス) 方向に変化します。

反時計方向に回す : R GAIN、B GAINの設定値がLCDパネルに表示され、値が- (マイナス) 方向に変化します。

- このダイヤルを押すと、現在の設定値がLCDパネル (9) に表示されます。
- ATWが選択されているとき (ATW ボタン (26) が点灯) に回すと、LCDパネルには“—”と表示され、ホワイトバランスの設定は変わりません。

③② R/B PED ダイヤル [R/B PED]

Rch, Bch のペダスタル (R PED, B PED) を個別に調整することで、ブラックバランスをお好みの設定にします。

時計方向に回す : R PED、B PED の設定値が LCD パネルに表示され、値が+ (プラス) 方向に変化します。

反時計方向に回す : R PED、B PED の設定値が LCD パネルに表示され、値が- (マイナス) 方向に変化します。

- このダイヤルを押すと、現在の設定値が LCD パネル (③①) に表示されます。

③③ カラーアジャスト ENABLE ボタン [ENABLE]

カラーアジャスト部の操作の有効と無効を切り替えます。

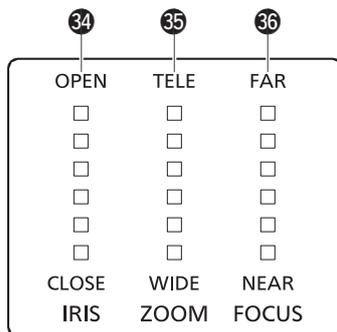
点灯 : カラーアジャスト部の操作が有効

消灯 : カラーアジャスト部の操作が無効

メモ

- DETAIL ボタン (②⑦)、GAIN ボタン (②⑧)、PED ダイヤル (③②)、R/B GAIN ダイヤル (③①)、R/B PED ダイヤル (③②) を操作すると、LCD パネルの表示が切り替わり、各設定値が表示されますが、約 3 秒経過すると元の表示に戻ります。

インジケータ部



③④ IRIS インジケータ [IRIS]

リモートカメラのレンズ絞りのポジションを 6 段階で表示します。

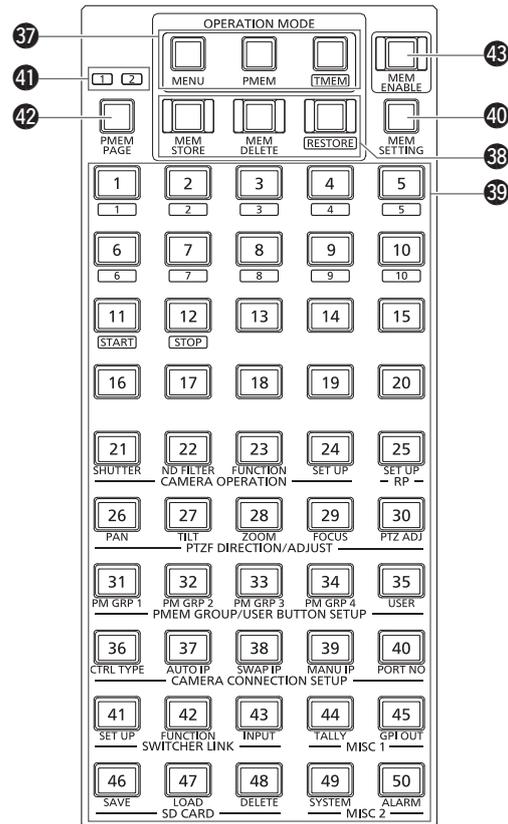
③⑤ ZOOM インジケータ [ZOOM]

リモートカメラのレンズズームのポジションを 6 段階で表示します。

③⑥ FOCUS インジケータ [FOCUS]

リモートカメラのレンズフォーカスのポジションを 6 段階で表示します。

メニュー、メモリー選択部



③⑦ メインモード選択ボタン [MENU] [PMEM] [TMEM]

メニュー、メモリー選択部の動作モードを選択します。

ボタンを押すと、押したボタンのみが点灯して動作モードが切り替わります。

MENU : メニューを選択するモード (MENU モード) へ移行
⇒「メニューの基本操作」(20 ページ)

PMEM : プリセットメモリーの再生、登録、削除を行うモード (PMEM モード) へ移行
⇒<操作・設定編>「プリセットメモリー (PMEM) を操作する」(12 ページ)

TMEM : トレーシングメモリーの再生、登録、削除、修正を行うモード (TMEM モード) へ移行
⇒<操作・設定編>「トレーシングメモリー (TMEM) を操作する」(18 ページ)

③⑧ メモリーモード選択ボタン

[MEM STORE] [MEM DELETE] [RESTORE]

メインモード選択ボタン (③⑦) で PMEM もしくは TMEM が選択されている状態において、登録、削除、修正のいずれの操作を行うかを選択します。

消灯しているボタンを押すと、押したボタンのみが点灯して動作モードが切り替わります。

点灯しているボタンを押すと、3つのボタンすべてが消灯し、メモリーを再生するモード (RECALL モード) に切り替わります。

MEM STORE : メモリーを登録するモード (STORE モード) へ移行

MEM DELETE : メモリーを削除するモード (DELETE モード) へ移行

RESTORE : トレーシングメモリーを修正するモード (RESTORE モード) へ移行

各部の名前とはたらき (つづき)

- 各モードの詳細については、以下を参照してください。
 - ⇒ <操作・設定編>「プリセットメモリー (PMEM) を操作する」(13ページ)
 - ⇒ <操作・設定編>「トレーシングメモリー (TMEM) を操作する」(18～21ページ)

39 数字ボタン [1] ～ [50]

メニューの選択、プリセットメモリーの選択、トレーシングメモリーの選択を行います。

40 MEMORY SETTING ボタン [MEM SETTING]

プリセットメモリーの SPEED、SCOPE を設定します。
⇒ <操作・設定編>「プリセットメモリー (PMEM) を操作する」(14ページ)

41 PMEM PAGE インジケーター [1] [2]

プリセットメモリーのページ番号を表示します。
PMEM PAGE [1]、[2] のいずれかが点灯します。

42 PMEM PAGE ボタン [PMEM PAGE]

プリセットメモリーのページ番号を選択します。
ボタンを押すごとに、PMEM PAGE インジケーター (41) の点灯状態が [1] → [2] → [1] … と変わり、ページ番号が切り替わります。

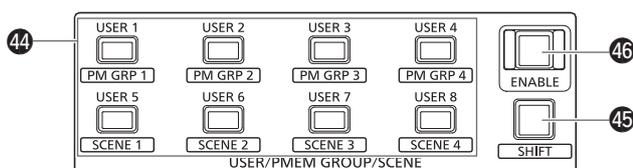
43 MEMORY ENABLE ボタン [MEM ENABLE]

プリセットメモリー、トレーシングメモリーの操作の有効と無効を切り替えます。

点灯：有効
消灯：無効

- MEMORY ENABLE ボタンが消灯しているときでも、メニュー操作は可能です。

ユーザーボタン部



44 USER ボタン [USER 1] ～ [USER 8]

USER 1 ～ USER 8 に割り当てた機能呼び出します。
⇒ <操作・設定編>「USER ボタンへ機能を割り当てる」(30ページ)
また、SHIFT ボタン (45) を押して点灯させたときは、プリセットメモリーグループやリモートカメラの SCENE 1 ～ SCENE 4 を呼び出すことができます。
⇒ <操作・設定編>「撮影モード (SCENE 1 ～ SCENE 4) の設定」(9ページ)

45 SHIFT ボタン [SHIFT]

このボタンを押して、USER ボタンの動作モードを切り替えます。
ボタンを押すごとに点灯→消灯→点灯…と切り替わります。

消灯：SHIFT ボタンが無効。

USER 1 ～ USER 8 ボタンを押すと、USER 1 ～ USER 8 に割り当てた機能が呼び出されます。

点灯：SHIFT ボタンが有効。

USER 1 ～ USER 8 ボタンを押すと、プリセットメモリーグループやリモートカメラの SCENE 1 ～ SCENE 4 が呼び出されます。

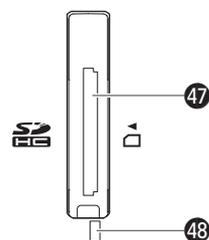
46 USER ENABLE ボタン [ENABLE]

USER ボタンの操作の有効と無効を切り替えます。

点灯：USER ボタンの操作が有効

消灯：USER ボタンの操作が無効

メモリーカード部



47 メモリーカードスロット

SDメモリーカード (別売)、またはSDHCメモリーカード (別売) を挿入します。

48 メモリーカードアクセスランプ

メモリーカードにアクセスしている間、ランプが点灯します。
(短い期間のアクセスを繰り返しているときは点滅します)
アクセスランプが点灯および点滅している間は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

● メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD規格/SDHC規格に準拠したものをお使いください。

また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。

なお、SDXCメモリーカード、マルチメディアカード (MMC) には対応していません。

SD	8 MB ～ 2 GB まで
SDHC	4 GB ～ 32 GB まで

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトをご参照ください。

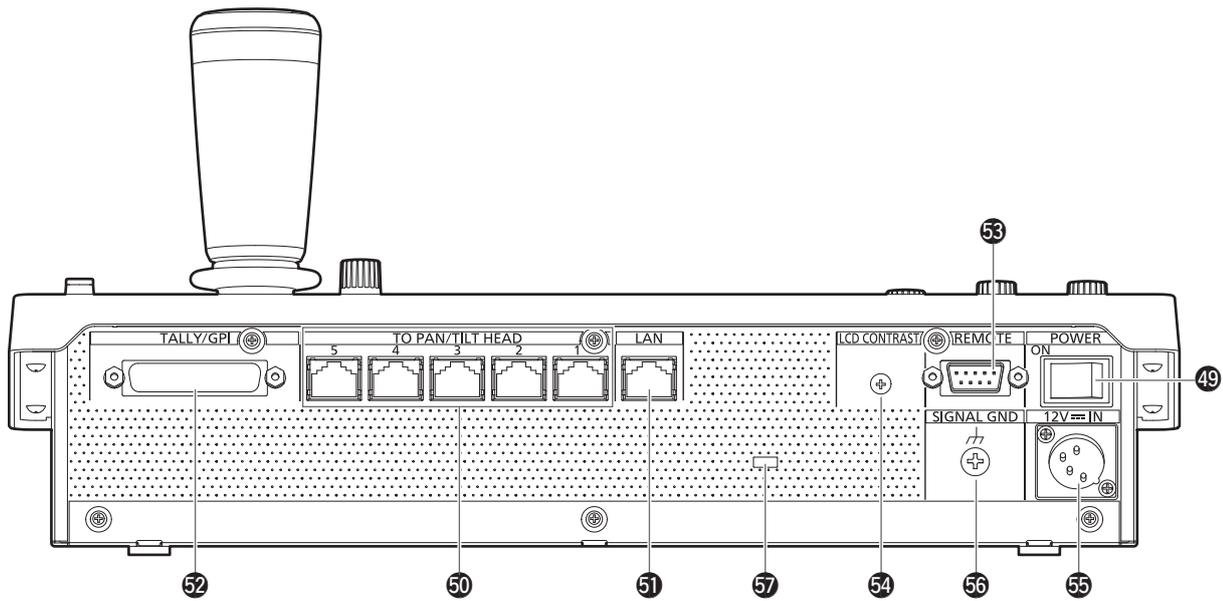
(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

- 使用時、保管時は以下の点にお気をつけください。

- ・高温・多湿を避ける。
- ・水滴を付けない。
- ・帯電を避ける。

背面部



49 POWERスイッチ [POWER]

POWERスイッチをONにするとPOWERランプ(●)が点灯し、本機を操作することができます。

50 TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5 端子
[TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5] (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。ストレートケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)で接続してください。
⇒「接続」(21 ~ 26 ページ)

51 LAN端子 [LAN] (RJ-45)
(10BASE-T/100BASE-TX)

IP接続対応のリモートカメラ、スイッチャーおよびコンピューターをLANケーブルで接続します。本機と機器を直接接続する場合は、クロスケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)を使用してください。ハブ(スイッチングハブ)等を経由して接続する場合は、ストレートケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)を使用してください。
⇒「接続」(21 ~ 26 ページ)

52 TALLY/GPI端子 [TALLY/GPI]
JST製: JBY-25S-1A3F(LF)(SN)

外部機器と接続して、タリー情報の受信や、カメラ選択状態の送信をすることができます。TALLY/GPI端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

53 REMOTE端子 [REMOTE]
JST製: JEY-9P-1A3F(LF)(SN)

外部機器からリモートカメラを制御するときに接続します。REMOTE端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

54 LCD CONTRASTコントロール [LCD CONTRAST]

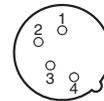
LCDパネル(●)のコントラストを調整します。

55 DC IN端子 [12V ≐ IN] (DC 12 V)

ヒロセ電機製: HA16RA-4P(77)

外部DC電源を接続します。

ピン番号	機能
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V



外部DC電源について

- 出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。
- 定格出力電流が、本機の定格入力電流以上のものをお選びください。
- 本機と外部DC電源を接続するDCコードは、2 mよりも短いシールドケーブルを使用してください。
- 本機の電源投入時には、突入電流が発生します。電源投入時に電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機の消費電力の2倍以上の電力を確保できる外部DC電源のご使用をお勧めします。

- 外部DC電源のDC出力端子(DCプラグ)と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因となります。

56 グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

57 ワイヤ取り付け穴

盗難防止のために、市販の盗難防止用ワイヤーを取り付ける穴です。

本機の基本操作

1. 本機の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。

本機に電源が供給され、POWERランプが点灯します。

- CAMERA SETUPメニュー [24] で「2. AUTO ON」項目を「On」に設定しているときは、本機の電源ONに連動して、リモートカメラの電源も入ります。
⇒ <操作・設定編>「リモートカメラの電源の入れかた」(3ページ)
- CTRL TYPEメニュー [36] で「Serial」または「Network」に設定されているリモートカメラが、連動対象となります。
⇒ 「リモートカメラとの接続種別(シリアル/IP/接続無し)を設定する」(30ページ)

2. リモートカメラを選択する

選択モードボタン[SELECT]が点灯している状態で、カメラ選択ボタン[CAMERA SELECT/GROUP SELECT]を押し、本機から制御するリモートカメラを選択します。

3. リモートカメラの向きを調整する

PAN/TILT ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、PAN/TILTレバーを操作し、リモートカメラの向きを調整します。

4. ズームを調整する

FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、ZOOMボタンを操作し、レンズのズームを調整します。TELE側を押すと望遠になり、WIDE側を押すと広角になります。

5. レンズの絞りを調整する

FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、IRISダイヤルを回して、レンズの絞りを調整します。

6. フォーカスを調整する

FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、FOCUSダイヤルを回して、レンズのフォーカスを調整を行います。

マニュアルフォーカスのときにワンタッチオートフォーカスボタンを押すと、一時的にオートフォーカスモードになり自動で焦点を合わせます。

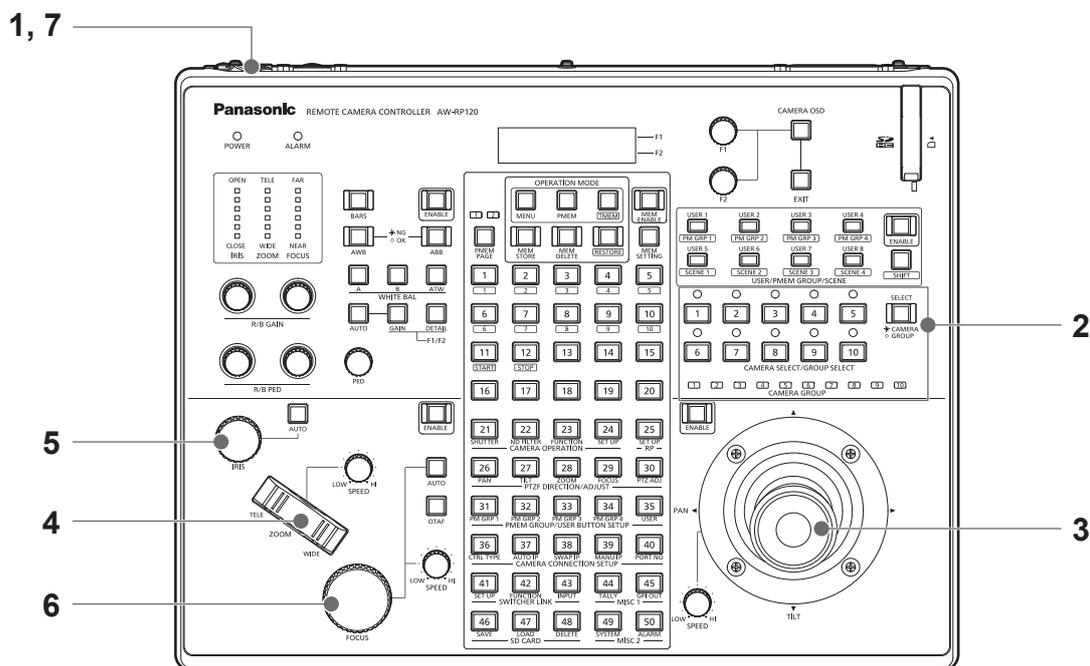
- OTAF (ワンタッチオートフォーカス) は、OTAF機能があるリモートカメラに有効です。

7. 本機の電源を切る

POWERスイッチをOFFにします。

本機の電源が切れ、POWERランプが消灯します。

- 本機の電源をOFFにしても、接続されているリモートカメラの電源はOFFされません。
- リモートカメラの電源を切るには、CAMERA SETUPメニュー [24] の「1. CAM POWER」項目で、「ALL OFF ↓」または「GROUP OFF ↓」を選択し、実行してください。
⇒ <操作・設定編>「リモートカメラの電源の切りかた」(4ページ)



メニューの基本操作

1. MENU ボタンを ON にする

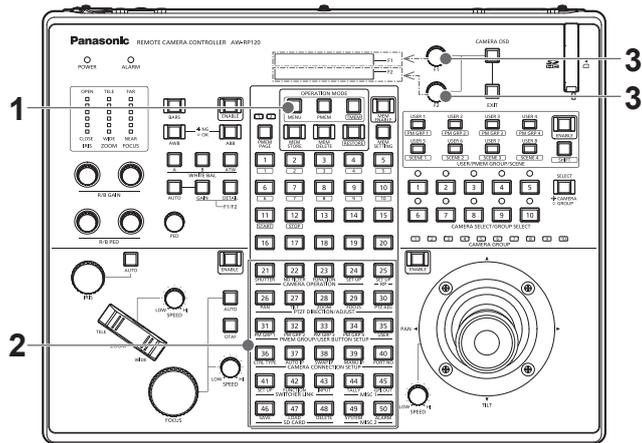
MENU ボタンを押して点灯させます。

2. 目的のメニューを選択する

数字ボタン [21] ~ [50] を押して点灯させます。
 選択したメニューが、LCD パネルに表示されます。

3. F1 ダイヤルと F2 ダイヤルで設定値を変更する

メニューの選択および設定値の変更は、F1 ダイヤルと F2 ダイヤルで行います。
 LCD パネルの上段に表示される項目は、F1 ダイヤルで操作します。
 LCD パネルの下段に表示される項目は、F2 ダイヤルで操作します。



- 設定値に「↓」が表示されている場合は、ダイヤルを押すと値が確定し、設定が反映され、「↓」の表示が消えます。



- 設定値に「↓」が表示されていない場合は、ダイヤルを回すと値が確定し、設定が反映されます。



各メニューの詳細な設定については、<操作・設定編>を参照してください。

メモ

本書におけるメニューの表記について

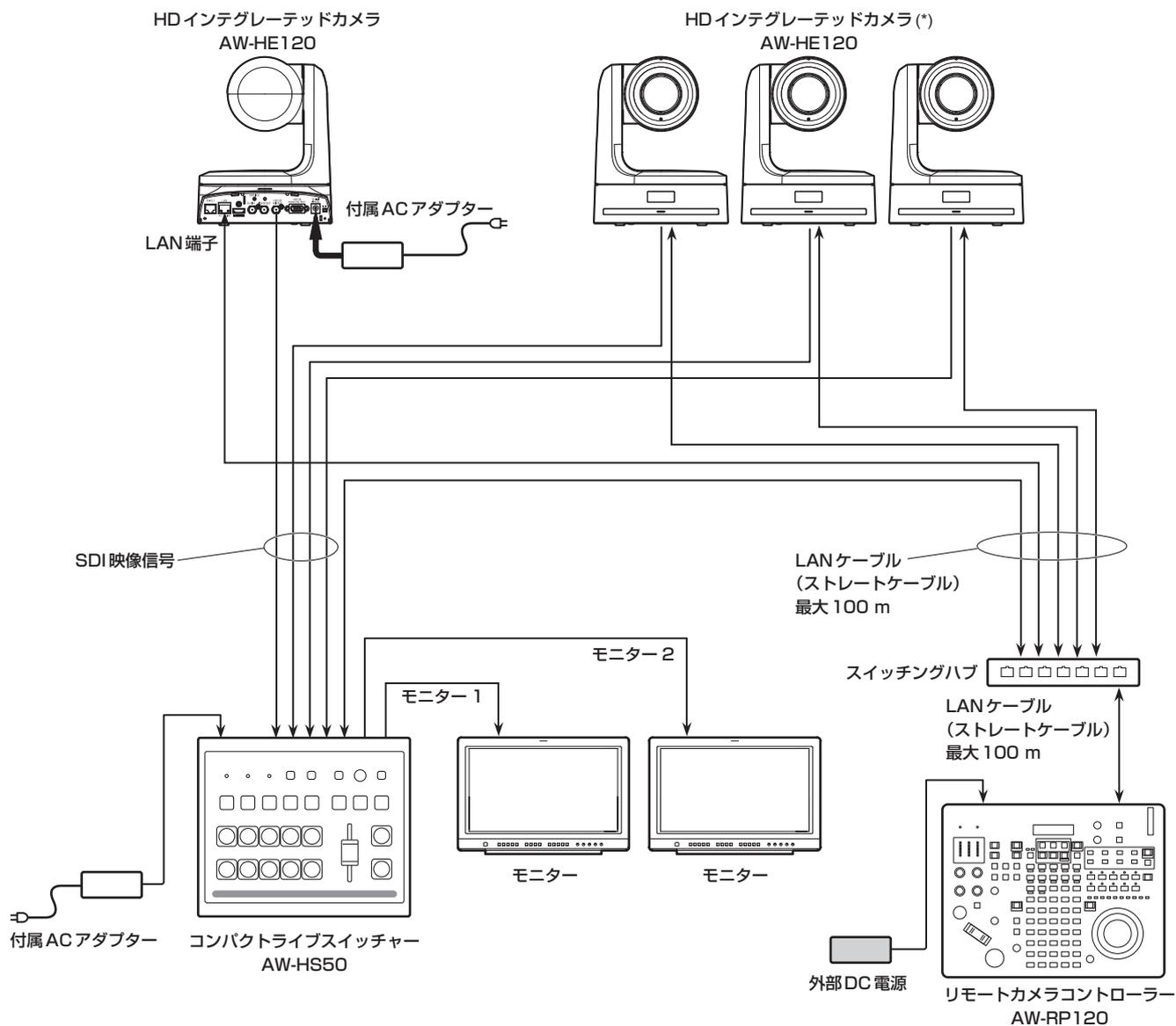
本書では、各数字ボタンに割り当てられたメニューの名称を以下のように表記します。

数字ボタン	本書におけるメニュー名称表記	数字ボタン	本書におけるメニュー名称表記
[21]	SHUTTER	[36]	CTRL TYPE
[22]	ND FILTER	[37]	AUTO IP
[23]	FUNCTION	[38]	SWAP IP
[24]	CAMERA SETUP	[39]	MANUAL IP
[25]	RP SETUP	[40]	PORT NO
[26]	PAN DIRECTION	[41]	SW SETUP
[27]	TILT DIRECTION	[42]	SW FUNCTION
[28]	ZOOM DIRECTION	[43]	SW INPUT
[29]	FOCUS DIRECTION	[44]	TALLY
[30]	PTZ ADJUST	[45]	GPI OUT
[31]	PM GRP1	[46]	SD SAVE
[32]	PM GRP2	[47]	SD LOAD
[33]	PM GRP3	[48]	SD DELETE
[34]	PM GRP4	[49]	SYSTEM
[35]	USER BUTTON	[50]	ALARM

- 文中では、例えば、「SHUTTERメニュー [21]」というように表現します。

IP 接続例

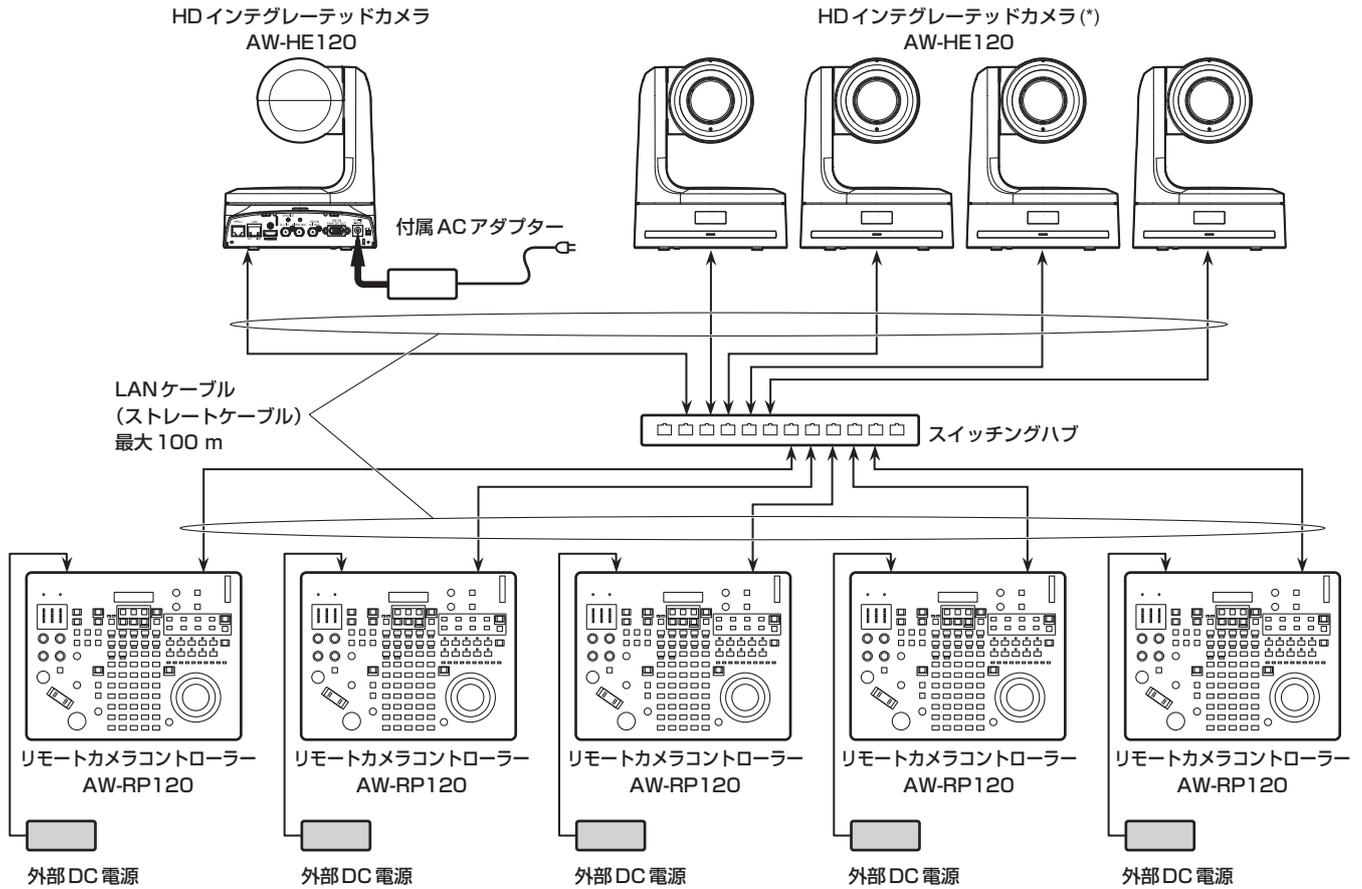
■ リモートカメラ (AW-HE120、AW-HE50S、AW-HE60S) および AW-HS50 との IP 接続



(*) 付属の AC アダプターのイラストは省略しています。

- 上図は、AW-HE120 を使用した接続例ですが、AW-HE50S、AW-HE60S も同様に使用できます。
- LAN ケーブルは、ストレートケーブル (カテゴリ 5 以上のシールドケーブル) を使用してください。
- シリアル接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機 1 台に、IP 接続、シリアル接続を合計して最大 100 台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

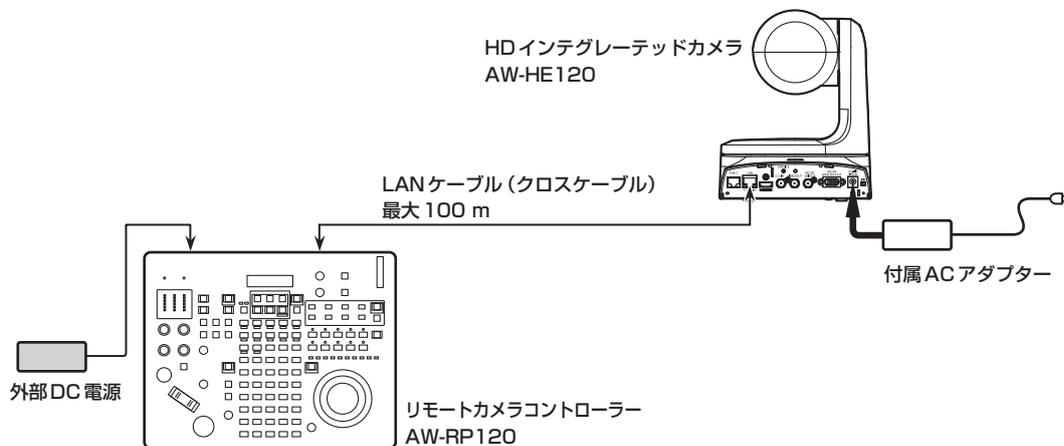
■ 複数台の本機とリモートカメラ (AW-HE120、AW-HE50、AW-HE60) との IP 接続



(*) 付属の AC アダプターのイラストは省略しています。

- 上図は、AW-HE120 を使用した接続例ですが、AW-HE50、AW-HE60 も同様に使用できます。
- LAN ケーブルは、ストレートケーブル (カテゴリ 5 以上のシールドケーブル) を使用してください。
- 1 台のリモートカメラを最大 5 台の本機から同時に操作することができます。(IP 接続時)

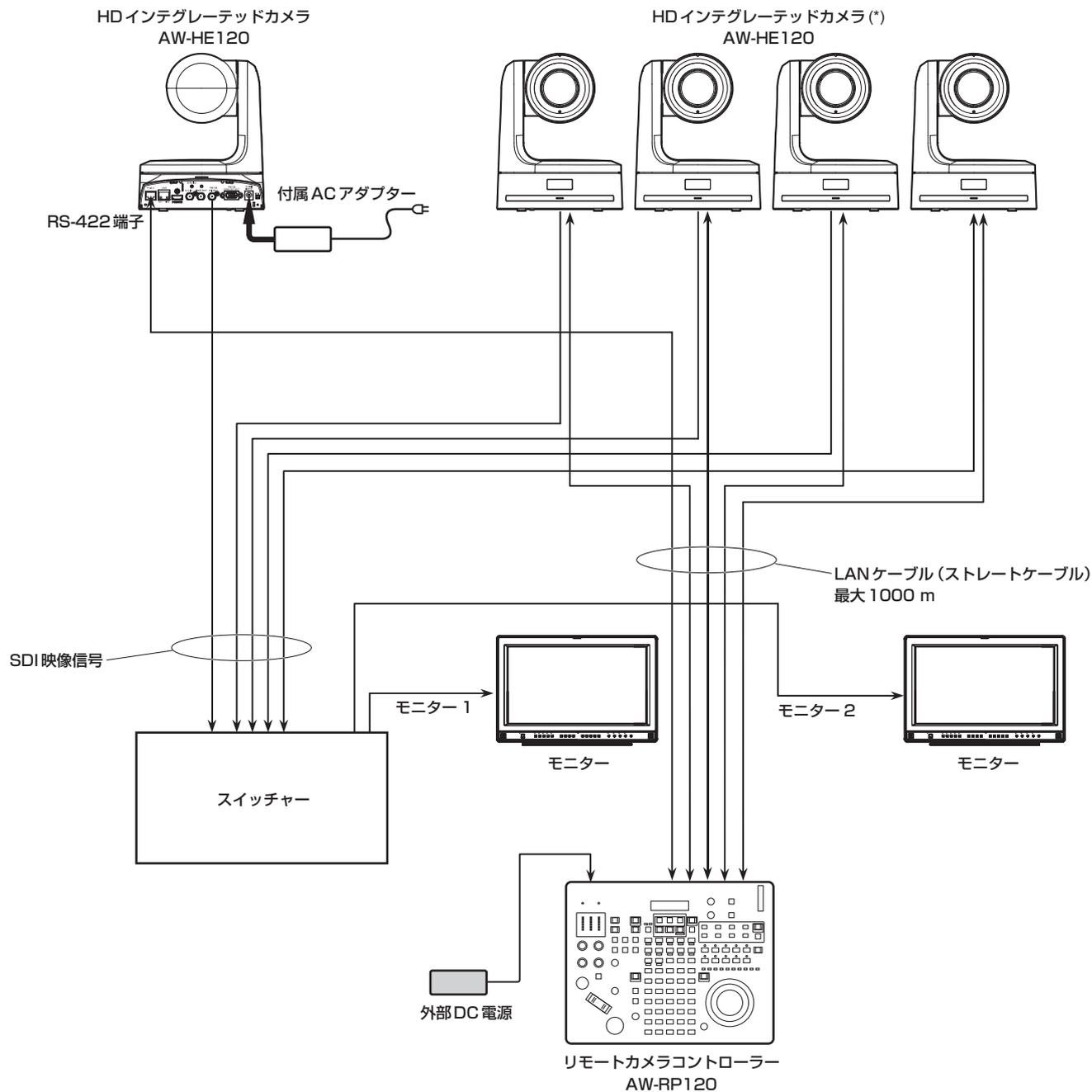
■ 本機 1 台とリモートカメラ (AW-HE120、AW-HE50、AW-HE60) 1 台との IP 接続



- LAN ケーブルは、クロスケーブル (カテゴリ 5 以上のシールドケーブル) を使用してください。

シリアル接続例

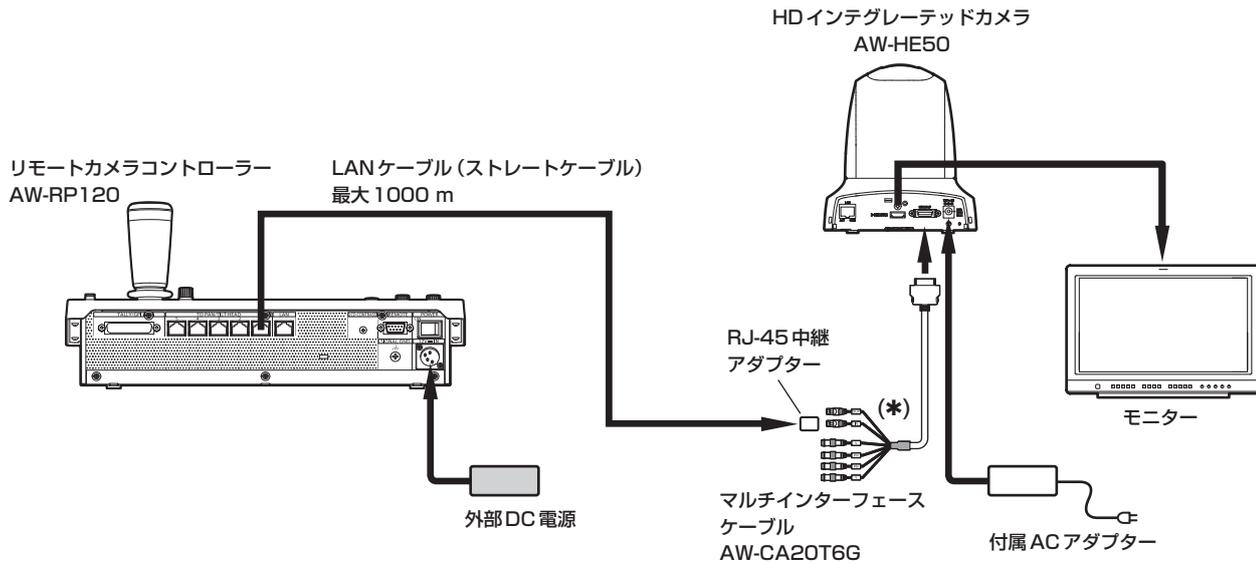
■ リモートカメラ AW-HE120 とのシリアル接続



(* 付属の AC アダプターのイラストは省略しています。

- LANケーブルは、ストレートケーブル (カテゴリ 5 以上のシールドケーブル) を使用してください。
- シリアル接続時は、本機 1 台に接続できるリモートカメラは最大 5 台です。
- IP 接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機 1 台に、IP 接続、シリアル接続を合計して最大 100 台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

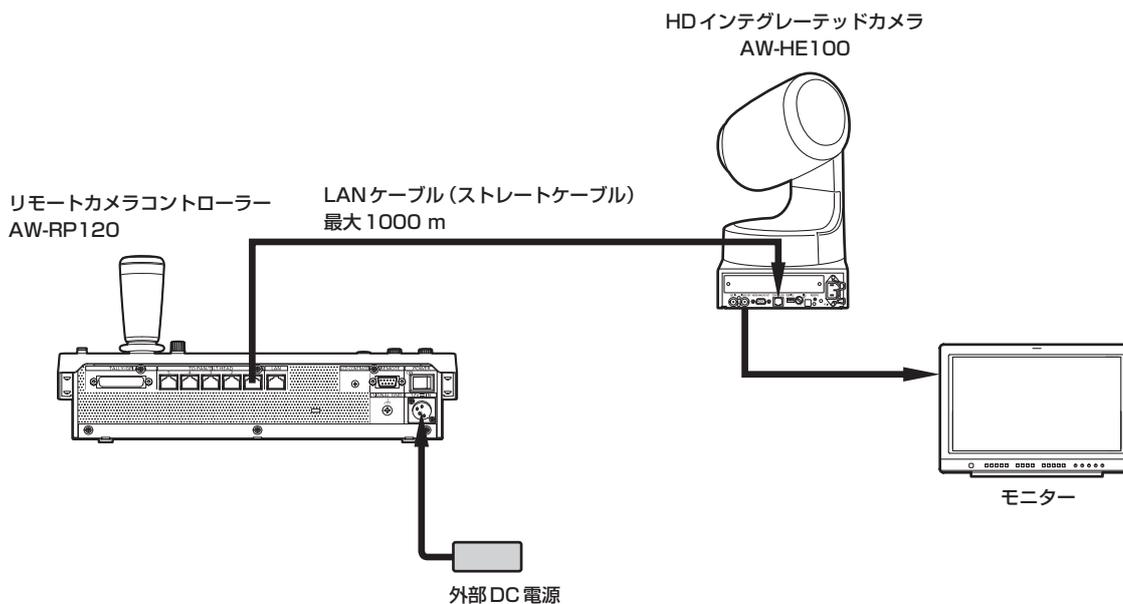
■ リモートカメラ (AW-HE50、AW-HE60) とのシリアル接続



(*) 「IN」と記載したコネクタに接続してください。

- 上図は、AW-HE50 を使用した接続例ですが、AW-HE60 も同様に接続して使用できます。
- リモートカメラ (AW-HE50、AW-HE60) とシリアル接続する場合は、マルチインターフェースケーブル (AW-CA20T6G) が必要です。
- LANケーブルは、ストレートケーブル (カテゴリー 5以上のシールドケーブル) を使用してください。
- シリアル接続時は、本機 1 台に接続できるリモートカメラは最大 5 台です。

■ AW-HE100 とのシリアル接続

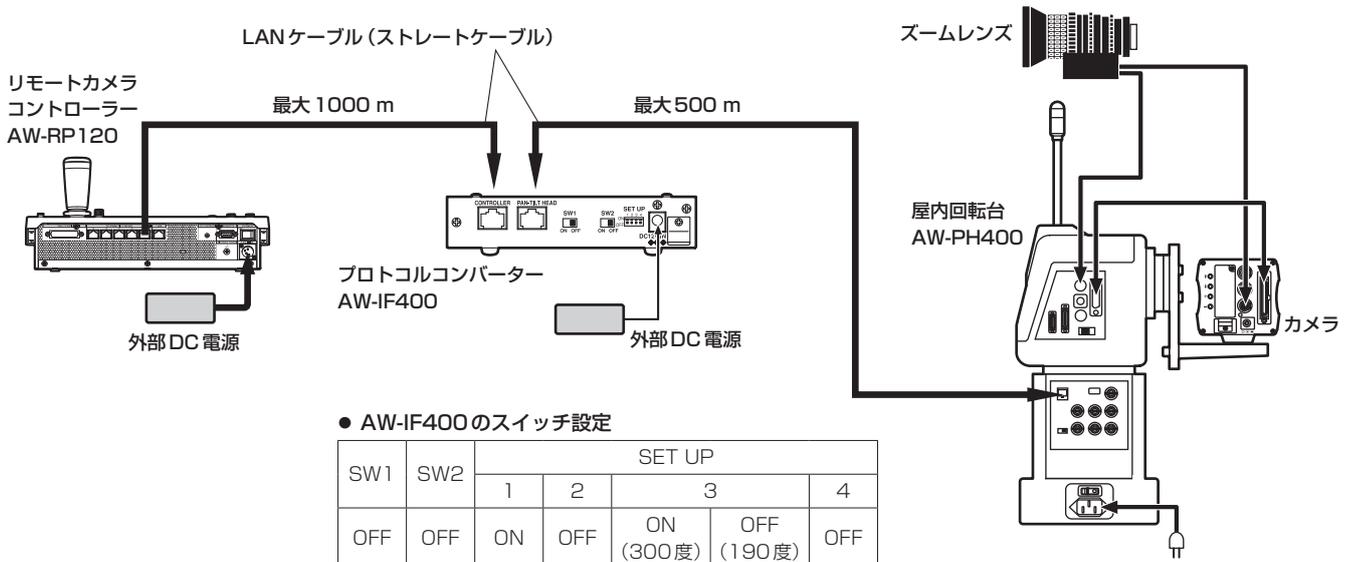


- LANケーブルは、ストレートケーブル (カテゴリー 5以上のシールドケーブル) を使用してください。

■ AW-PH400 およびカメラとのシリアル接続

対応カメラ：

AW-HE870、AW-E860、AW-E750、AW-E650、AW-E350、AK-HC1500、AK-HC1800のいずれか

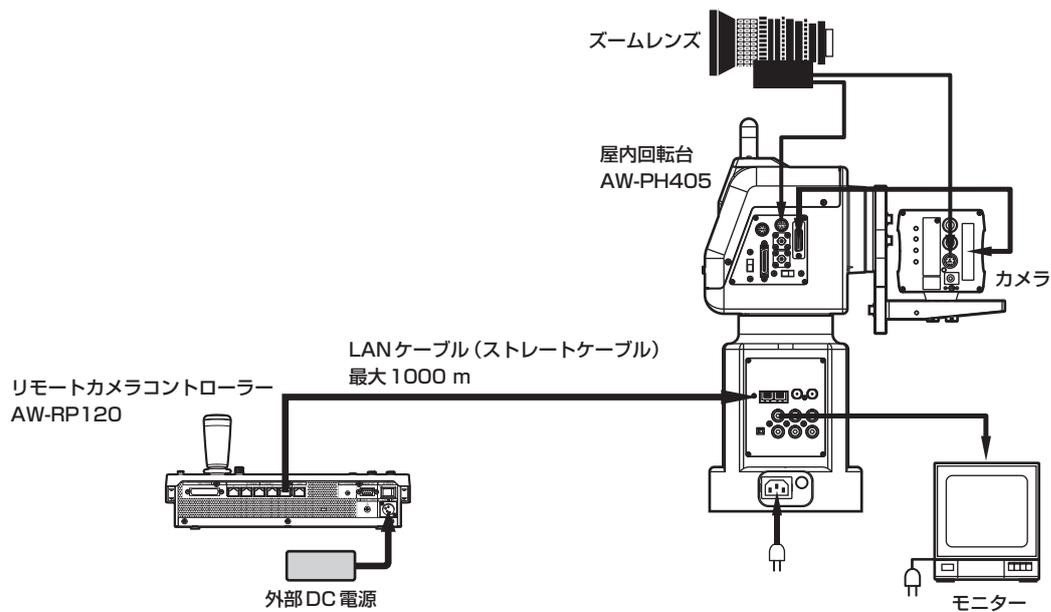


- LANケーブルは、ストレートケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)を使用してください。

■ AW-PH405 およびカメラとのシリアル接続

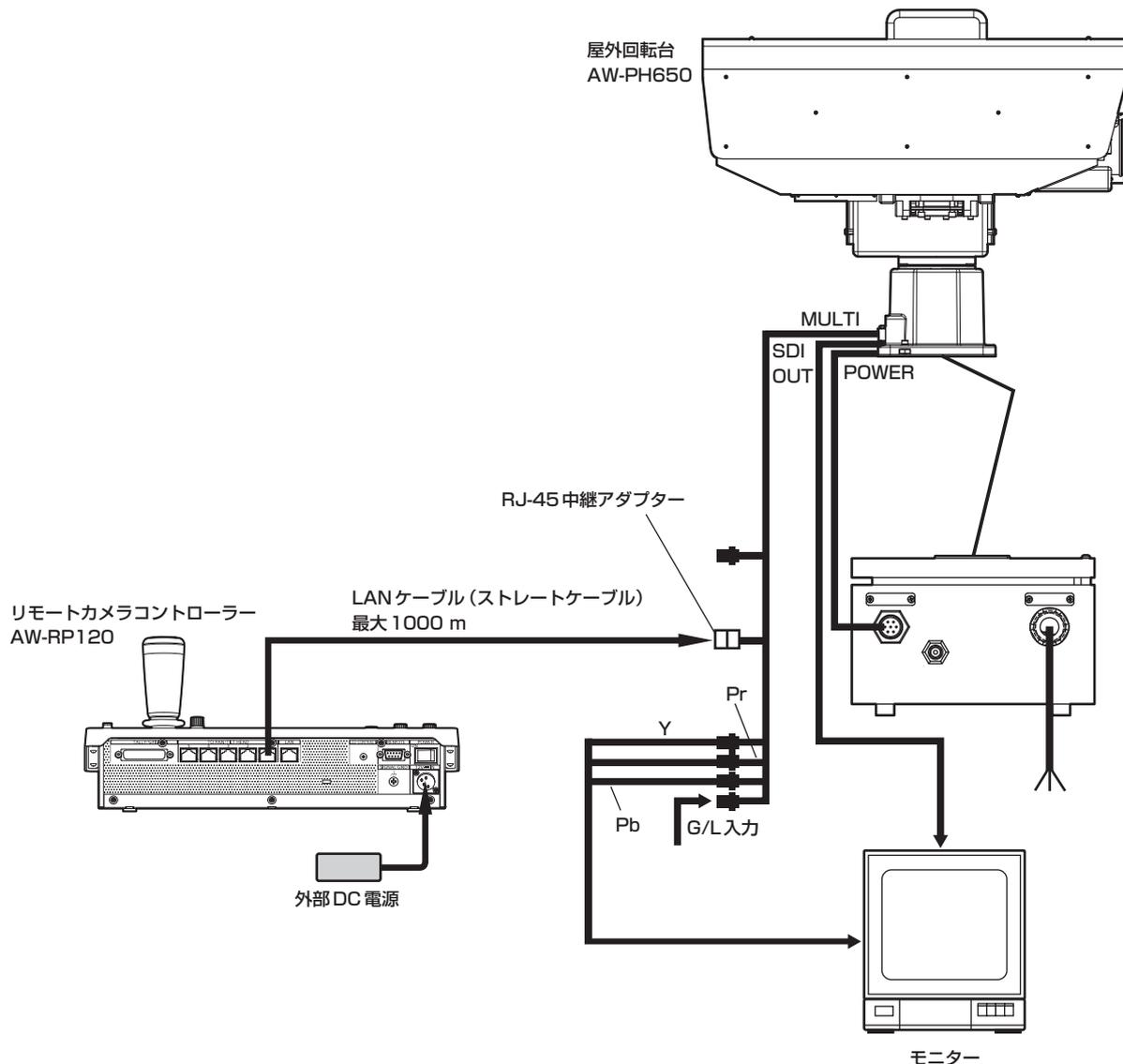
対応カメラ：

AW-HE870、AW-E860、AW-E750、AW-E650、AW-E350、AK-HC1500、AK-HC1800のいずれか



- LANケーブルは、ストレートケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)を使用してください。

■ AW-PH650 およびカメラとのシリアル接続



- LANケーブルは、ストレートケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)を使用してください。

本機のネットワーク設定を行う

IP接続したりリモートカメラを本機から制御するには、本機のネットワーク設定が必要です。

NOTE

- 同じネットワーク内に同一のIPアドレスが存在すると、正しく動作しません。
IPアドレスが重複しないように設定してください。

本機のIPアドレスの設定

1. RP SETUPメニュー [25] を開き、F1 ダイヤルを回して、「7. IP ADDRESS」項目を表示する

7. IP ADDRESS
192↓168.000.009

- 工場出荷時は、「192.168.000.009」に設定されています。

2. F2 ダイヤルを操作し、他の機器とIPアドレスが重複しないように、本機のIPアドレスを設定する

4つのブロックごとに分けて入力を行います。

第4ブロックまで進みF2ダイヤルを押すと、IPアドレスが確定します。

- リモートカメラやスイッチャーの接続先IPアドレスと重複している場合は、以下のメッセージが表示され、IPアドレスは設定されません。

7. IP ADDRESS
IP Duplicate!

- 設定できない値を入力した場合は、下記のメッセージが表示され、IPアドレスは設定されません。
メモ「設定可能なアドレスについて」(28ページ)を参照してください。

Unavailable
network setting

NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。
- IPアドレスは、ネットワーク管理者とご相談のうえ設定してください。

サブネットマスクの設定

1. RP SETUPメニュー [25] を開き、F1 ダイヤルを回して、「8. SUBNETMASK」項目を表示する

8. SUBNETMASK
255↓255.255.000

- 工場出荷時は、「255.255.255.000」に設定されています。

2. F2 ダイヤルを操作し、本機のサブネットマスクを設定する

4つのブロックごとに分けて入力を行います。

第4ブロックまで進みF2ダイヤルを押すと、サブネットマスクが確定します。

- 設定できない値を入力した場合は、下記のメッセージが表示され、サブネットマスクは設定されません。
メモ「設定可能なアドレスについて」(28ページ)を参照してください。

Unavailable
network setting

NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

デフォルトゲートウェイの設定

1. RP SETUPメニュー [25] を開き、F1 ダイヤルを回して、「9. GATEWAY」項目を表示する

9. GATEWAY
192↓168.000.001

- 工場出荷時は、「192.168.000.001」に設定されています。

2. F2 ダイヤルを操作し、本機のデフォルトゲートウェイを設定する

4つのブロックごとに分けて入力を行います。

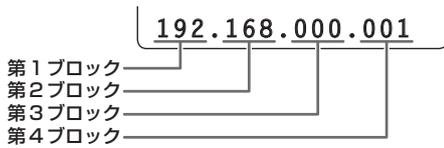
第4ブロックまで進みF2ダイヤルを押すと、デフォルトゲートウェイが確定します。

NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

メモ

設定可能なアドレスについて



- IPアドレスには、以下の範囲の値を設定することができます。

第1ブロック：1～223	第2ブロック：0～255
第3ブロック：0～255	第4ブロック：1～254

ただし、上記範囲内であっても、「127.000.000.001」は設定できません。

- サブネットマスクには、以下の範囲の値を設定することができます。

第1ブロック：0～255	第2ブロック：0～255
第3ブロック：0～255	第4ブロック：0～255

ただし、上記範囲内であっても、「000.000.000.000」、「127.000.000.001」は設定できません。

MACアドレスの表示

1. RP SETUPメニュー [25] を開き、F1 ダイアルを回して、「10. MAC ADDRESS」項目を表示する

```
10. MAC ADDRESS
*****
```

- MACアドレスは表示のみで、変更することはできません。

受信用ポート番号の設定

本機が、リモートカメラからカメラ情報の更新通知を受信するためのポート番号を設定します。

ルーターを経由してリモートカメラを接続する場合に、設定を変更します。

- 更新通知は、選択中のカメラグループに含まれるリモートカメラから受信しますので、10個のポート番号を設定します。

1. RP SETUPメニュー [25] を開き、F1 ダイアルを回して、「11. PORT CAM1」～「20. PORT CAM10」項目を表示する

```
11. PORT CAM1
    61000↓
```

}

```
20. PORT CAM10
    61009↓
```

2. F2 ダイアルを操作し、各カメラ番号に受信用ポート番号を設定する

入力範囲：61000～65535

- 重複した受信用ポート番号を入力した場合は、以下のメッセージが表示され、設定は反映されません。

```
Unavailable
network setting
```

GLOBAL AREA 設定

GLOBAL AREA 設定を「On」にすると、接続先のリモートカメラの状態に関わらず、制御コマンドを送信します。

接続種別が「Network」に設定されたカメラ番号に該当するカメラステータス表示ランプは常時点灯し、その他のカメラステータス表示ランプは消灯します。

GLOBAL AREA 設定が「Off」のときのカメラステータス表示ランプの表示については、「リモートカメラを選択する」(38ページ)を参照してください。

- 接続種別については、「リモートカメラとの接続種別(シリアル/IP/接続無し)を設定する」(30ページ)を参照してください。

1. RP SETUPメニュー [25] を開き、F1 ダイアルを回して、「6. GLOBAL AREA」項目を表示する

```
6. GLOBAL AREA
    Off↓
```

2. F2 ダイアルを回して「On」を表示し、F2 ダイアルを押して確定する

NOTE

- GLOBAL AREA 設定が「On」のとき、シリアル接続したリモートカメラを制御することはできません。接続種別が「Serial」に設定されていたカメラ番号は、GLOBAL AREA 設定を「On」にすると、接続種別が「NoAssign」へ強制的に変更されます。

リモートカメラ、スイッチャーとの接続設定を行う

本機からリモートカメラを制御したり、本機とスイッチャーとのリンク機能を使用したりするためには、予め接続設定が必要です。接続設定を行うには、本機で設定する方法とセットアップソフトウェアを使って設定する方法があります。ここでは、本機で設定する方法について説明します。セットアップソフトウェアを使った設定のしかたについては、<操作・設定編>「セットアップソフトウェア」(48ページ)を参照してください。

NOTE

- リモートカメラは、出荷時にすべて同じIPアドレスに設定されています。そのため、複数台のリモートカメラを出荷状態のままIP接続して本機から操作しても、リモートカメラは正しく動作しません。
- リモートカメラを交換するときなど、同じIPアドレスに設定された別のリモートカメラを接続する場合は、本機の電源を切ってから接続してください。本機の電源を切らずに接続した場合は、リモートカメラが正しく動作しないことがあります。

リンク設定について

本機では、カメラ番号CAM1～CAM100から1つを選択することで、制御するリモートカメラを特定します。制御しようとするリモートカメラがIP接続の場合、この操作を行うためには、予め、各リモートカメラに重複しないようにIPアドレスを設定し、各IPアドレスと本機の各カメラ番号とを関係付けておく必要があります。同様に、スイッチャーとの連携機能を使用するためには、スイッチャーのIPアドレスと本機とを関係付けておく必要があります。本書では、この関係付けの設定のことを「**リンク設定**」と記載しています。

接続先IPアドレスについて

本書では、本機が接続対象(リモートカメラやスイッチャー)を特定するためのIPアドレスを、「**接続先IPアドレス**」と記載しています。リモートカメラの接続先IPアドレスは、カメラ番号CAM1～CAM100それぞれに対して1つずつ(合計100個)本機に設定され、スイッチャーの接続先IPアドレスは、本機に1つ設定されています。各カメラ番号の接続先IPアドレスは、MANUAL IPメニュー [39]で確認できます。スイッチャーの接続先IPアドレスは、SW SETUPメニュー [41]で確認できます。

関連するメニューと、操作の概要

CTRL TYPEメニュー [36]

接続するリモートカメラの接続種別(シリアル/IP/接続無し)を、カメラ番号ごとに設定します。

AUTO IPメニュー [37]

リモートカメラやスイッチャーとのリンク設定を自動で行うときに操作します。(自動IP設定)

以下3つの動作モードがあります。

RENEW IP ADR	リモートカメラやスイッチャーに設定されているIPアドレスを本機が更新することにより、リンク設定します。
KEEP IP ADR	リモートカメラやスイッチャーに設定されているIPアドレスは保持したままで、本機に設定されている接続先IPアドレスを更新することにより、リンク設定します。
ALL CLEAR	本機に設定されている接続先IPアドレスを初期化します。

SWAP IPメニュー [38]

自動IP設定によってリンク設定したカメラ番号と接続先IPアドレスの組み合わせを変更したいときに操作します。

MANUAL IPメニュー [39]

各カメラ番号に設定されている接続先IPアドレスを確認するときや手動で変更するとき操作します。

SW SETUPメニュー [41]

本機とリンクするスイッチャーの接続種別(IP/接続無し)や、接続先IPアドレスの設定を行う際に操作します。

リモートカメラとの接続種別 (シリアル/IP/ 接続無し) を設定する

1. カメラ番号CAM1 ~ CAM100に対して、接続種別を設定する

CTRL TYPEメニュー [36] を開き、F1 ダイアルを回して、設定するカメラ番号を表示します。

1. CAM1
NoAssign↓

2. F2ダイアルを回して接続種別を選択し、F2ダイアルを押して確定する

Serial : シリアル接続
Network : IP 接続
NoAssign : 接続なし (初期設定)

設定変更中は、以下のメッセージが表示されます。

Setting
CTRL TYPE

- シリアル接続用の TO PAN/TILT HEAD 端子 [1] ~ [5] は、それぞれカメラ番号CAM1 ~ CAM5に対応しています。CAM6 ~ CAM100に対してシリアル接続「Serial」の設定はできません。

NOTE

- 「自動IP設定」(30 ~ 34ページ) を行う場合は、対象のカメラ番号を「NoAssign」に設定してください。

スイッチャーとの接続種別 (IP/ 接続無し) を設定する

1. 本機とリンクするスイッチャーの接続種別を設定する

SW SETUPメニュー [41] を開き、F1 ダイアルを回して、「1. SW CTL」項目を開きます。

1. SW CTL
NoAssign↓

2. F2ダイアルを回して接続種別を選択し、F2ダイアルを押して確定する

Network : IP 接続
NoAssign : 接続なし (初期設定)

NOTE

- 「自動IP設定」(30 ~ 34ページ) を行う場合は、「1. SW CTL」項目を「NoAssign」に設定してください。

自動でIPアドレスを設定する (自動IP設定)

「自動IP設定」を行うと、本機と同じサブネット内に接続されているリモートカメラやスイッチャーとの間のリンク設定が自動で行われます。以下、はじめて設定する場合 (リモートカメラおよびスイッチャーが工場出荷の状態) と、すでに運用している環境にリモートカメラやスイッチャーを追加導入する場合に分けて説明します。

はじめて設定する場合

<動作の概要>

AUTO IPメニュー [37] で、「RENEW IP ADR」を実行することにより、リンク設定を行います。

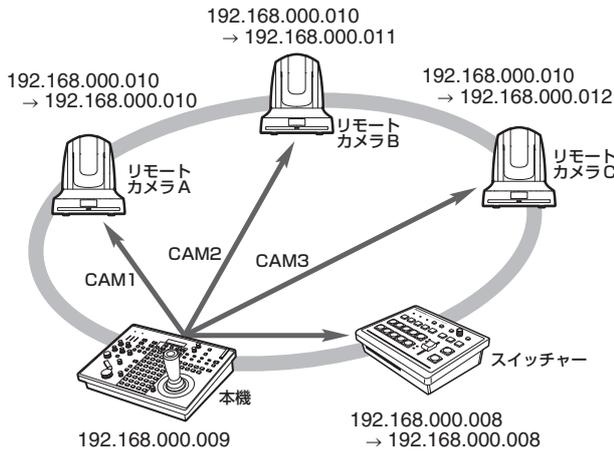
「RENEW IP ADR」では、本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、検出した各リモートカメラと、本機で接続種別が「NoAssign」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。このとき、各リモートカメラのIPアドレスを、本機の各カメラ番号に対して設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えます。同様に、本機でスイッチャーとの接続種別が「NoAssign」に設定されている状態で、新たにスイッチャーを検出した場合は、検出したスイッチャーのIPアドレスを、本機に設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えることにより、リンク設定を行います。

例:

- ① リモートカメラA、B、C (工場出荷状態) に設定されているIPアドレス
リモートカメラA : 192.168.000.010
リモートカメラB : 192.168.000.010
リモートカメラC : 192.168.000.010
- ② 本機に設定されている接続種別 (CTRL TYPEメニュー [36])
CAM1 : NoAssign
CAM2 : NoAssign
CAM3 : NoAssign
- ③ 本機に設定されている接続先IPアドレス (MANUAL IPメニュー [39])
CAM1 : 192.168.000.010
CAM2 : 192.168.000.011
CAM3 : 192.168.000.012

この状態で、「RENEW IP ADR」を実行すると、リモートカメラA ~ CのIPアドレスは以下の値に書き替えられ、それぞれカメラ番号CAM1 ~ CAM3とリンク設定されます。

リモートカメラA : 192.168.000.010
リモートカメラB : 192.168.000.011
リモートカメラC : 192.168.000.012



- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよびポート番号の設定は、本機と同一のものが設定されます。
- 「自動IP設定」が実行されたカメラ番号は、接続種別が「Network」になり、次に「自動IP設定」を行う際には、設定対象から除かれます。
ただし、「自動IP設定」が実行された後に、接続先IPアドレスを手動で変更したカメラ番号や、接続種別を「NoAssign」や「Serial」に変更して「Network」に戻したカメラ番号は、再度「自動IP設定」の対象になります。

<操作のしかた>

NOTE

- 設定する前に、リモートカメラの接続種別が「NoAssign」になっていることを確認してください。

接続種別の設定

CTRL TYPEメニュー [36] → 「1. CAM1」～
「100. CAM100」項目

1. リモートカメラ、スイッチャー、本機を同一サブネット内のネットワークに接続する

2. AUTO IPメニュー [37]を開き、F2ダイヤルを回して「RENEW IP ADR」を表示させてF2ダイヤルを押す

1. AUTO SET
RENEW IP ADR↓

現在本機が管理している台数 (すべてのリモートカメラとスイッチャー) と新たに検出した台数がLCDパネルに表示されます。

C:003/003 S:1/1
NO↓

C:003/003

現在本機が管理している台数 + 新たに検出した台数

新たに検出した台数

C: リモートカメラ、S: スwitchャー

3. F2ダイヤルを回して「Yes」を選択し、F2ダイヤルを押す
「自動IP設定」を開始します。
「自動IP設定」を行っているときは、「*」の数が減ることで、進行の経過を表示します。

1. AUTO SET

すべて正常に終了すると、以下のメッセージが表示されます。

1. AUTO SET
COMPLETE

リモートカメラとスイッチャーが自動でリブートし、新しく設定したIPアドレスで起動します。
本機からリモートカメラを操作できるようになります。
スイッチャーと本機との連携機能ができるようになります。

- IPアドレスの設定に失敗した場合は、以下のメッセージが表示されます。

1. AUTO SET
SET UP ERR!

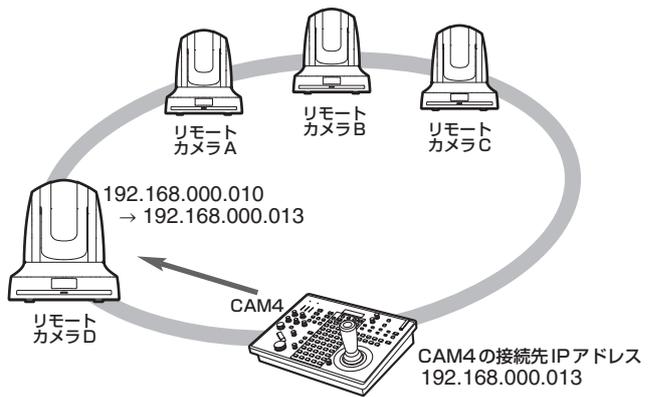
ネットワークの障害による原因が考えられます。
ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

すでに運用している環境にリモートカメラやスイッチャーを追加導入する場合

すでにIP接続で運用している環境にリモートカメラやスイッチャーを追加導入する場合も、「自動IP設定」によって設定を行うことができます。

以下2つの方法があります。

1. 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを、本機から自動で更新する
2. 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを変えずに、本機に設定されている接続先IPアドレスを自動で更新する



■追加導入する機器に設定されているIPアドレスを、本機から自動で更新する

<動作の概要>

AUTO IPメニュー [37] で、「RENEW IP ADR」を実行することにより、リンク設定を行います。

「RENEW IP ADR」では、本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NoAssign」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。このとき、リモートカメラのIPアドレスを、本機に設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えます。

同様に、本機でスイッチャーとの接続種別が「NoAssign」に設定されている状態で、新たにスイッチャーを検出した場合は、検出したスイッチャーのIPアドレスを、本機に設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えることにより、リンク設定を行います。

- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよびポート番号の設定は、本機と同一のものが設定されます。
- 自動IP設定で本機とのリンクが設定された後に、パーソナルコンピューターなどを用いてIPアドレスを変更したリモートカメラを接続し「RENEW IP ADR」を実行すると、当該リモートカメラには一度自動IP設定を実行したときと同一のIPアドレスが再度設定されます。

<操作のしかた>

1. 追加導入するリモートカメラ、スイッチャー、本機を同一サブネット内のネットワークに接続する
2. AUTO IPメニュー [37] を開き、F2ダイヤルを回して「RENEW IP ADR」を表示させてF2ダイヤルを押す

1. AUTO SET
RENEW IP ADR↓

現在、本機が管理している台数（すべてのリモートカメラとスイッチャー）と新たに検出した台数がLCDパネルに表示されます。

C:001/004 S:0/1
NO↓

C:001/004

現在本機が管理している台数+新たに検出した台数

新たに検出した台数

C: リモートカメラ、S: スwitchャー

例:

① 3台のリモートカメラA、B、Cが、カメラ番号CAM1、CAM2、CAM3にそれぞれリンク設定され、運用されている。

② 新たに1台のリモートカメラD（IPアドレスの値は以下）を追加導入する。

リモートカメラD: 192.168.000.010

③ 本機に設定されている接続種別（CTRL TYPEメニュー [36]）

- CAM1: Network
- CAM2: Network
- CAM3: Network
- CAM4: NoAssign

④ 本機に設定されている接続先IPアドレス（MANUAL IPメニュー [39]）

CAM4: 192.168.000.013

この状態で、「RENEW IP ADR」を実行すると、リモートカメラDのIPアドレスは以下の値に書き替えられ、カメラ番号CAM4に対してリンク設定されます。

リモートカメラD: 192.168.000.013

3. F2ダイヤルを回して「Yes」を選択し、F2ダイヤルを押す「自動IP設定」を開始します。
「自動IP設定」を行っているときは、「*」の数が減ることで、進行の経過を表示します。

1.AUTO SET
* * * * *

すべて正常に終了すると、以下のメッセージが表示されます。

1.AUTO SET
COMPLETE

リモートカメラとスイッチャーが自動でリポートし、新しく設定したIPアドレスで起動します。
本機からリモートカメラを操作できるようになります。
スイッチャーと本機との連携機能ができるようになります。

- IPアドレスの設定に失敗した場合は、以下のメッセージが表示されます。

1.AUTO SET
SET UP ERR!

ネットワークの障害による原因が考えられます。
ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

■ 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを変えずに、本機に設定されている接続先IPアドレスを自動で更新する

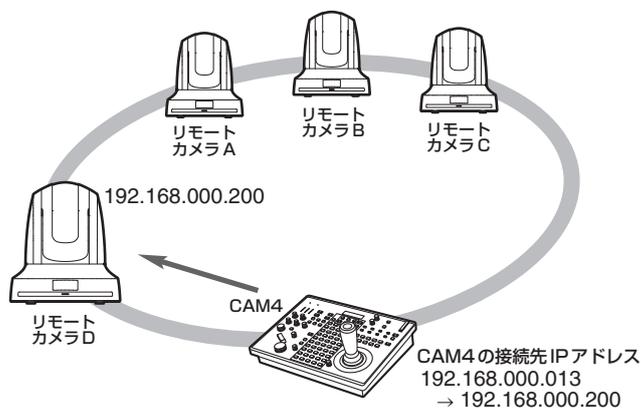
<動作の概要>

AUTO IPメニュー [37]で、「KEEP IP ADR」を実行することにより、リンク設定を行います。
「KEEP IP ADR」では、本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NoAssign」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。このとき、リモートカメラに設定されているIPアドレスはそのまま保持し、本機に設定されている接続先IPアドレスを書き替えます。同様に、本機でスイッチャーとの接続種別が「NoAssign」に設定されている状態で、新たにスイッチャーを検出した場合は、検出したスイッチャーに設定されているIPアドレスはそのまま保持し、本機に設定されている接続先IPアドレスを書き替えることにより、リンク設定を行います。

例：

- ① 3台のリモートカメラA、B、Cが、カメラ番号CAM1、CAM2、CAM3にそれぞれリンク設定され、運用されている。
- ② 新たに1台のリモートカメラD (IPアドレスの値は以下)を追加導入する。
リモートカメラD：192.168.000.020
- ③ 本機に設定されている接続種別 (CTRL TYPEメニュー [36])
CAM1：Network
CAM2：Network
CAM3：Network
CAM4：NoAssign
- ④ 本機に設定されている接続先IPアドレス (MANUAL IPメニュー [39])
CAM4：192.168.000.013

この状態で、「KEEP IP ADR」を実行すると、リモートカメラDのIPアドレスは変わらず、本機に設定されている接続先IPアドレスが以下の値に書き替えられ、リモートカメラDとリンク設定されます。
CAM4の接続先IPアドレス：192.168.000.200



- 接続種別が「Serial」以外に設定されたカメラ番号の中に、検出したリモートカメラのIPアドレスと同じ値の接続先IPアドレスが設定されたカメラ番号が存在する場合、本機に設定されている接続先IPアドレスは更新されません。接続先IPアドレスはそのまま、当該カメラ番号とリモートカメラがリンク設定されます。

NOTE

- 本機とリモートカメラのサブネットマスクの値は同じ値を設定してください。サブネットマスクが異なると、ネットワークを使用する操作ができなくなります。

<操作のしかた>

1. 追加導入するリモートカメラ、スイッチャー、本機を同一サブネット内のネットワークに接続する

2. AUTO IPメニュー [37] を開き、F2ダイヤルを回して「KEEP IP ADR」を表示させてF2ダイヤルを押す

1. AUTO SET
KEEP IP ADR↓

現在本機が管理している台数 (すべてのリモートカメラとスイッチャー) と新たに検出した台数がLCDパネルに表示されます。

C:001/004 S:0/1
NO↓

C:001/004

現在本機が管理している台数 + 新たに検出した台数

新たに検出した台数

C: リモートカメラ、S: スイッチャー

3. F2ダイヤルを回して「Yes」を選択し、F2ダイヤルを押す「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、「*」の数が減ることで、進行の経過を表示します。

1. AUTO SET
* * * * *

すべて正常に終了すると、以下のメッセージが表示されます。

1. AUTO SET
COMPLETE

本機からリモートカメラを操作できるようになります。
スイッチャーと本機との連携機能ができるようになります。

- 運用中の機器のIPアドレスと追加導入するリモートカメラのIPアドレスが重複している場合は、以下のメッセージが表示されリンク設定はされません。

1. AUTO SET
IP Duplicate!

追加導入するリモートカメラのIPアドレスを確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

- IPアドレスの設定に失敗した場合は、以下のメッセージが表示されます。

1. AUTO SET
SET UP ERR!

ネットワークの障害による原因が考えられます。
ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

メモ

接続機器の検出について

- 「RENEW IP ADR」や「KEEP IP ADR」により、検出した機器の台数が登録可能な数 (リモートカメラ: 100台、スイッチャー: 1台) を超えた場合は、LCDパネルの下段に「C/S OVER!」を表示します。この状態でも自動IP設定を行うことができますが、登録可能な台数分しかIPアドレスを設定しません。

C:020/100 S:1/1
C/S OVER! YES↓

- 複数のリモートカメラが同時に起動されたときなど、本機側ですべてのリモートカメラを検出できないことがあります。この場合、「RETRY」を選択し、F2ダイヤルを押して再度実行してください。
- リモートカメラやスイッチャーの電源が入っていなかった等の原因で、新たに検出した台数の表示が実際に設定する台数に足りなかった場合は、原因を取り除いたあと、「RETRY」を選択し、F2ダイヤルを押して再度実行してください。

C:020/020 S:1/1
RETRY↓

NOTE

- 他のリモートカメラコントローラー (本機AW-RP120、またはAW-RP50) を追加する場合は、同じネットワーク内でIPアドレスが重複しないように設定した上で接続してください。
- 「自動IP設定」は、同じネットワーク内で自動IP設定対象外の機器 (リモートカメラ、スイッチャー以外の機器) が動作していない状態で実行してください。これらの機器は、自動IP設定を実行した後、同じネットワーク内でIPアドレスが重複していないことを確認した上で接続してください。

接続先IPアドレスを入れ替える

「自動IP設定」を実行すると、リモートカメラは本機のカメラ番号にリンク設定され、本機から制御できるようになります。このリンク設定が希望に合わない場合には、下記の手順でお好みの設定に変更することができます。

1. SWAP IPメニュー [38] を開き、F1 ダイヤルを回して、設定を変更したいカメラ番号を表示させる
LCDパネルの2段目に、当該カメラ番号の接続先として設定されているIPアドレスが表示されます。

1. CAM1
192.168.000.001

2. F2ダイヤルを回して、接続先として設定したいカメラ (IPアドレス) を選択する

F2ダイヤルを回すと、IPアドレスの表示が変わるとともに、当該IPアドレスが設定されたリモートカメラのタリールンプが点灯し、PAN/TILTレバーで操作ができるようになります。

タリールンプの点灯状態や映像出力を確認しながら、設定したいリモートカメラを特定します。

- 接続先として表示されるIPアドレスは、CTRL TYPEメニュー [36] で、接続種別が「Network」に設定されているカメラ番号の接続先IPアドレスです。

3. F2ダイヤルを押してIPアドレスを確定する

2つのカメラ番号の間で、接続先IPアドレスの入れ替えが行われます。

1. CAM1
192.168.000.003↓

例：

①元の設定

カメラ番号CAM1の接続先IPアドレス：192.168.000.001
カメラ番号CAM3の接続先IPアドレス：192.168.000.003

②SWAP IPメニュー [38] を開き、カメラ番号CAM1の接続先IPアドレスを、192.168.000.003に設定

③設定が下記のように変更され、各カメラ番号を選択したときに動作するリモートカメラが入れ替わります。

カメラ番号CAM1の接続先IPアドレス：192.168.000.003
カメラ番号CAM3の接続先IPアドレス：192.168.000.001

NOTE

- SWAP IPメニュー [38] を開いているときは、カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/GROUP SELECT] の操作とカメラ制御 (IRIS、FOCUS、ZOOM、CAMERA OSD) はできません。
- この操作で、リモートカメラに設定されているIPアドレスは変更されません。

接続先IPアドレス (リモートカメラ) を手動で設定する

「自動IP設定」でIPアドレスを設定することができないリモートカメラを接続 (ルーターを経由して接続) する場合や、本機とリモートカメラのリンク設定を手動で行う場合に操作します。

1. MANUAL IPメニュー [39] を開き、F1ダイヤルを回して、設定を変更したいカメラ番号を表示させる

1. CAM1
192.168.000.001↓

2. F2ダイヤルを操作し、接続先とするIPアドレスを設定する

4つのブロックごとに分けて入力を行います。

第4ブロックまで進み、F2ダイヤルを押してIPアドレスを確定します。

CTRL TYPEメニュー [36] で接続種別が「NoAssign」、 「Serial」に設定されているカメラ番号に対しても設定することができます。

- 工場出荷の状態では、以下の値に設定されています。

CAM1 : 192.168.000.010

↓

CAM100 : 192.168.000.109

- 接続先IPアドレスを変更すると、IPアドレスの重複チェックを行います。IPアドレスが重複している場合は、「IP Duplicate!」を3秒間表示します。接続先IPアドレスが重複していても、そのまま設定は反映されます。

1. CAM1
IP Duplicate!

NOTE

- この操作で、リモートカメラに設定されているIPアドレスが変更されるわけではありません。

接続先ポート番号を設定する

ルーターを経由して接続する場合など、ポート番号によりリモートカメラを特定する必要がある場合に設定します。

- スイッチャーの接続先ポート番号を設定することはできません。

1. PORT NOメニュー [40] を開き、F1 ダイヤルを回して、設定を変更したいカメラ番号を表示させる

1. CAM1
80

2. F2ダイヤルを回して値を変更し、F2ダイヤルを押して確定する

- 工場出荷時は、CAM1～CAM100すべてのカメラ番号について、「80」に設定されています。

設定できない値を入力した場合は、下記のメッセージが表示され、ポート番号は設定されません。

Unavailable
network setting

メモ

- 設定可能なポート番号について

1～65535の範囲の値を設定することができます。

ただし、この範囲内であっても、以下の値を設定することはできません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、
123、161、162、995、10669、10670

接続先IPアドレス(スイッチャー)を手動で設定する

本機とスイッチャーのリンク設定を手動で行う場合に操作します。

1. SW SETUPメニュー [41] を開き、F1ダイヤルを回して、「2. SW IP ADDRESS」項目を表示させる

2. SW IP ADDRESS
192.168.000.008↓

- 工場出荷の状態では、「192.168.000.008」に設定されていません。

2. F2ダイヤルを操作し、接続先とするIPアドレスを設定する

4つのブロックごとに分けて入力を行います。

第4ブロックまで進みF2ダイヤルを押して、IPアドレスが確定します。

本機に設定されている接続先IPアドレスを初期化する

本機に設定されている接続種別、接続先IPアドレスを初期化します。

1. AUTO IPメニュー [37] を開き、F2ダイヤルを回して、「ALL CLEAR」を表示させる

1. AUTO SET
ALL CLEAR↓

2. F2ダイヤルを押して、初期化を実行する

リモートカメラやスイッチャーとの接続設定が初期化されます。

メモ

- 接続種別が「Network」から「NoAssign」に設定されます。「Serial」に設定されている場合は、変更されません。
- RP SETUPメニュー [25] で本機のIPアドレスが変更されている場合、接続先IPアドレスが自動で変更されます。
 - ・ 各カメラ番号には、本機のIPアドレス以降のアドレスが昇順で設定されます。
 - ・ スイッチャーとの接続先IPアドレスは、本機のIPアドレスの1つ前の値が設定されます。

カメラグループを選択する

本機では、カメラ番号CAM1～CAM100それぞれに対して接続設定を行うことで、最大100台のリモートカメラを制御対象として登録することができます。この中から制御するリモートカメラを選択するためには、該当するリモートカメラが属するカメラグループを予め選択しておく必要があります。

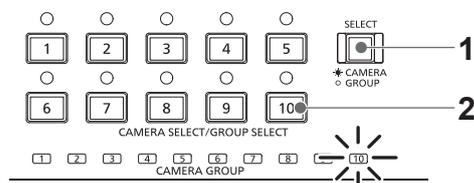
カメラグループ	カメラ番号	カメラグループ	カメラ番号
1	CAM1～CAM10	6	CAM51～CAM60
2	CAM11～CAM20	7	CAM61～CAM70
3	CAM21～CAM30	8	CAM71～CAM80
4	CAM31～CAM40	9	CAM81～CAM90
5	CAM41～CAM50	10	CAM91～CAM100

カメラグループを選択する

1. 選択モードボタン [SELECT] を押して、消灯させる

2. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/GROUP SELECT] を長押しし、制御したいリモートカメラが属するカメラグループを選択する

カメラグループが選択されると、該当するカメラグループ表示ランプ [CAMERA GROUP] が点灯し、長押ししたカメラ選択ボタンが点滅します。カメラ選択ボタンが点灯すると、本機からリモートカメラが操作できるようになります。



例：カメラグループ「10」を選択時

NOTE

- カメラグループを選択するときは、カメラ選択ボタンを長押ししてください。
- カメラグループを選択してから、リモートカメラの操作ができるようになるまでに、IP接続であれば5秒程度、シリアル接続であれば20秒程度の時間がかかります。
(AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120を接続し、すべての電源がONになっている場合)

リモートカメラを選択する

選択モードボタン[SELECT]が点灯しているとき、カメラ選択ボタン[CAMERA SELECT/GROUP SELECT]で、制御するリモートカメラを選択することができます。

カメラ選択ボタンを押すと、押したボタンが点灯し、リモートカメラが選択されます。

また、各ボタン上部のランプ(カメラステータス表示ランプ)の点灯状態により、カメラ選択ボタン1～10に割り当てられたリモートカメラの状態が分かります。

● カメラステータス表示ランプの点灯状態とリモートカメラの状態

ランプの点灯状態	リモートカメラの状態	本機とリモートカメラの接続
消灯	<ul style="list-style-type: none">● 該当するカメラ番号の接続種別が「NoAssign」に設定されている。● リモートカメラに電源が供給されていない。*1	IP接続、シリアル接続
点灯*3 (オレンジ色)	リモートカメラがスタンバイ状態。*2	IP接続、シリアル接続
点滅 (オレンジ色)	該当するリモートカメラに、本機以外のAW-RP120やAW-RP50がすでに5台接続されているため、本機が接続できない。	IP接続
点灯 (緑色)	リモートカメラと接続中。	IP接続、シリアル接続
点滅 (緑色)	該当するリモートカメラが、本機以外のAW-RP120やAW-RP50とも接続されている。	IP接続
点灯 (赤色)	該当するリモートカメラに対するタリー情報を、本機がネットワーク経由、または背面のTALLY/GPI端子から受信している。	IP接続、シリアル接続
点滅 (赤色)	該当するリモートカメラが他のAW-RP120やAW-RP50と接続している状態で、そのリモートカメラに対するタリー情報を、本機がネットワーク経由、または背面のTALLY/GPI端子から受信している。*4	IP接続

*1: プロトコルコンバーター(AW-IF400)を経由してAW-PH400を接続している場合、LANケーブルを抜き差ししたときもランプが「消灯」の状態になります。<操作・設定編>「リモートカメラの電源の入れかた」(3ページ)に従って電源を入れなおしてください。

*2: <操作・設定編>「リモートカメラの電源の入れかた」(3ページ)に従って電源を入れてください。

*3: プロトコルコンバーター(AW-IF400)を経由してAW-PH400を接続している場合は、「消灯」になります。

*4: 該当するリモートカメラのタリーランプが点灯している状態であっても、本機がネットワーク経由、または背面のTALLY/GPI端子からタリー情報を受信していなければ、赤色にはなりません。

NOTE

- RP SETUPメニュー[25]で、「6. GLOBAL AREA」項目を「On」に設定しているときは、CTRL TYPEメニュー[36]で接続種別を「Network」に設定しているカメラ番号に該当するランプが点灯し、それ以外のランプは消灯します。また、シリアル接続したリモートカメラは操作することができません。

故障かな？とおもったら

症 状	原因・対策	参照ページ
本機の電源が入らない	● 外部DC電源は動作していますか？	—
	● 外部DC電源のDCプラグは本機に確実に接続されていますか？	—
リモートカメラの操作ができない	● リモートカメラの電源は確実に接続されていますか？	—
	● リモートカメラと本機は正しく接続されていますか？	<基本編> P.21 ~ P.26
	● 接続設定は正しいですか？	<基本編> P.29 ~ P.36
	● リモートカメラがスタンバイ状態になっていませんか？ → リモートカメラの電源を入れてください。	<操作・設定編> P.3
	● リモートカメラは正しく選択されていますか？	<基本編> P.37 ~ P.38
	● ENABLE ボタンは点灯していますか？	<操作・設定編> P.27
PAN/TILTレバーの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● リモートカメラに設置方法の設定はされていますか？ → 設置状態（据え置き / 吊り下げ）に応じて設定を行う必要があります。 リモートカメラの取扱説明書を参照してください。	—
	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	<操作・設定編> P.23
ZOOM ボタン、FOCUSダイヤルの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	<操作・設定編> P.23 ~ P.24
スイッチャーとのIP連携機能が動作しない	● 接続設定は正しいですか？	<基本編> P.29 ~ P.36
	● スwitchャーとのリンク設定は正しいですか？	<操作・設定編> P.31

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品 **8年**

当社では、リモートカメラコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

ご連絡いただきたい内容	
品名	リモートカメラコントローラー
品番	AW-RP120G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

電源電圧	: DC 12 V / 0.5 A (DC入力範囲: DC 10 V - DC 16 V)
消費電力	: 6 W

 は安全項目です。

■ 総合

動作周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C
許容湿度 : 10% ~ 90% (結露なきこと)
質量 : 約 3.0 kg
寸法 (幅×高さ×奥行) : 342 mm × 77 mm × 265 mm
(突起部含まず)

■ 入出力端子

DC 12 V IN (XLR 4ピン)

LAN (RJ-45) : 10BASE-T/100BASE-TX
接続ケーブル: LANケーブル、最大 100 m

- スイッチングハブを経由して接続する場合:
ストレートケーブル (カテゴリー 5 以上のシールドケーブル)、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを推奨
- 機器を直接接続する場合:
クロスケーブル (カテゴリー 5 以上のシールドケーブル)、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを推奨

TO PAN/TILT HEAD (RJ-45) :

RS-422 (リモートカメラ用制御信号)
接続ケーブル:
ストレートケーブル (カテゴリー 5 以上のシールドケーブル)、最大 1000 m

TALLY/GPI (D-sub 25ピン、メス、インチねじ) :

TALLY IN : 10 入力、フォトカプラー受け
GPI IN : 6 入力、フォトカプラー受け
GPI OUT : 5 出力、オープンコレクター出力
(負論理)

REMOTE (D-sub 9ピン、オス、インチねじ) :

RS-232C

メニュー

[25] RP SETUP	
6. GLOBAL AREA	28
7. IP ADDRESS	27
8. SUBNETMASK	27
9. GATEWAY	27
10. MAC ADDRESS	28
11. PORT CAM1	28
20. PORT CAM10	28
[36] CTRL TYPE	30
[37] AUTO IP	31, 32, 34, 36
[38] SWAP IP	35
[39] MANUAL IP	35
[40] PORT NO	36
[41] SW SETUP	
1. SW CTL	30
2. SW IP ADDRESS	36

番号

2MEスイッチャー	8
-----------	---

A

AK-HC1500	8, 25
AK-HC1800	8, 25
AV-HS6000	8
AW-CA20T6G	24
AW-E350	8, 25
AW-E650	8, 25
AW-E750	8, 25
AW-E860	8, 25
AW-HE2	8
AW-HE50	8, 21, 22, 24
AW-HE60	8, 21, 22, 24
AW-HE100	8, 24
AW-HE120	8, 21, 22, 23
AW-HE870	8, 25
AW-HS50	8, 21
AW-IF400	8, 25
AW-PH360	8
AW-PH400	8, 25
AW-PH405	8, 25
AW-PH650	8, 26

G

GLOBAL AREA	28
-------------	----

H

HDインテグレートドカメラ	8, 21, 22, 23, 24
---------------	-------------------

I

IPアドレス	27
--------	----

L

LAN	18, 41
LANケーブル	21, 22, 23, 24, 25, 26

M

MACアドレス	28
---------	----

R

REMOTE	18, 41
--------	--------

S

Setup Software	9
----------------	---

T

TALLY/GPI	18, 41
TO PAN/TILT HEAD	18, 41

い

インジケータ部	16
---------	----

お

屋外回転台	26
屋内回転台	25

か

カメラ選択部	13
カラーアジャスト部	15

こ

コンパクトライブスイッチャー	8, 21
----------------	-------

さ

サブネットマスク	27
----------	----

し

自動IP設定	30
受信用ポート番号	28

せ

接続先IPアドレス	29
セットアップソフトウェア	9

て

デフォルトゲートウェイ	27
-------------	----

は

パン、チルト部	13
---------	----

ふ

フォーカス、ズーム、アイリス部	14
プロトコルコンバーター	25

ま

マルチインターフェースケーブル	24
-----------------	----

め

メニュー操作部	12
メニュー、メモリー選択部	16
メモリーカード部	17

ゆ

ユーザーボタン部	17
----------	----

り

リモートカメラ	8
リンク設定	29

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

